

第七十六回帝國議會
衆議院

治安維持法改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
治安維持法改正法律案(政府提出)
(第六二號)

會議

昭和十六年二月十二日(水曜日)午前十時三十分開議
出席委員左ノ如シ
委員長 服部 英明君
理事泉 國三郎君 理事眞鍋 勝君
理事松本 弘君
江原 三郎君 田村 秀吉君
高見 之通君 中野 寅吉君
中村 高一君 西村 茂生君
藤本 捨助君 一松 定吉君
藤田 若水君 猪野毛利榮君
三田村武夫君

二月十日委員松山次郎君及長谷長次君辭任ニ付其ノ補闕トシテ猪野毛利榮君及藤本捨助君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席國務大臣左ノ如シ
內務大臣 男爵平沼騏一郎君
司法大臣 柳川 平助君
出席政府委員左ノ如シ
內務省警保局長 橋本 清吉君
陸軍少將 田中 隆吉君
陸軍省法務局長 大山 文雄君
司法次官 三宅正太郎君
司法省刑事局長 秋山 要君
司法省行刑局長 金澤 次郎君
司法省書記官 石田 壽君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ
治安維持法改正法律案(政府提出)

○服部委員長 是ヨリ治安維持法改正法律案ヲ議題ト致シマシテ會議ヲ開キマス、先

ヅ當局ノ說明ヲ求メマス

○三宅政府委員 本會議ニ於キマシテ治安維持法改正法律案提出ノ理由ヲ大體御説明申上ゲマシタガ、尙ホ稍、詳細ニ互リ御説明申上ゲタイト思ヒマス、本改正案ハ第一章罪、第二章刑事手續、第三章豫防拘禁ノ三章ヨリ成ツテ居ルノデアリマス、第一章ハ現行法ノ罰則ノ全般ニ互ル改正ヲ加ヘ、之ヲ整備強化致シタノデゴザイマシテ、第二章及ビ第三章ハ新タニ規定ヲ設ケンツスルモノデアリマス、以下章ノ順ヲ逐ヒ改正ノ要領ヲ申上ゲマス

第一章ハ現行法ノ罰則ヲ整備強化致シタノデアリマスガ、罰則ノ改正強化ヲ必要トスル理由ニ付キ少シク詳シク申上ゲマス、御承知ノ如ク現行治安維持法ハ大正末期ヨリ昭和初年ニ掛ケテノ思想運動情勢ヲ背景トシテ立案セラレマシタ關係上、共產主義運動、殊ニ日本共產黨ノ活動ヲ主タル對象トシテ規定セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ同法施行後ノ實蹟ニ徴シマスルニ、共產主義運動ニ於キマシテ、日本共產黨ノ外ニ日本共產青年同盟又ハ日本勞働組合全國協議會ヲモ第一條所定ノ結社ト認定處罰致シマシタノミナラズ、是等ノ所謂正統派共產主義運動ト對立的ナル所謂農派「グループ」ニ對シ、或ハ日本無政府共產黨等ノ無政府主義運動ニ對シ又ハ民族獨立運動ニ對シ、更ニ皇道大本、天理本道、燈臺社等ノ所謂類似宗教運動ニ對シマシテモ亦本法ノ罰則ヲ適用シテ、是ガ檢舉處罰ヲ行ハザ

ルヲ得ナカツタ次第デアリマシテ、其ノ取締對象ガ立法當時豫想セラレタル所ニ比シ著シク擴大セラレ、且複雜化スルニ至ツテ居リマスト共ニ、共產主義運動ニ關シマシテモ、日本共產黨ノヤウナ有力結社ハ屢、次ノ檢舉情勢ノ變化ニ依リ、殆ド全ク其ノ活動ヲ休止シ、外面上其ノ存在ヲ疑ハルルニ至リマシタ結果、運動形態ハ從來ノ統一の組織の運動形態ヨリ、分散の個別的運動形態ニ移行シ、且ツ黨ノ目的遂行ノ爲ニスル活動ヨリ一轉シテ、黨ノ組織再建ノ準備活動、又ハ黨の機運ノ醸成ノ爲ノ活動ヲ終始スルニ至ツテ居ルノデアリマス、昭和十七年七月ノ「コミンテルン」第七回世界大會ニ於ケル人民戰線方策ノ採用、及ビ一昨年秋ノ「コミンテルン」ノ戰術轉換ハ、更ニ運動形態ノ複雜化ヲ増大致シテ居ルノデアリマス、斯カル事態ハ現行法ノ豫想シナカツタ所デアリマシテ、法ノ運用上相當困難ガアルノデアリマスカラ、現行法第一條乃至第三條ヲ適當ニ改正シテ、新情勢ニ對應セシメルト共ニ、刑罰ニ付テモ之ヲ加重シテ、我が國體ノ尊嚴ニシテ冒スベカラザルモノナルコトヲ規定ノ上ニ明徴ナラシメ、以テ取締ノ完畢ヲ期スルト共ニ、早期檢舉ノ實ヲ擧グル爲メ改正ノ必要ガアルノデアリマス、其ノ趣旨ニ於キマシテ罰則ヲ整備強化セントスルモノデアリマスガ、其ノ主要ナルモノハ次ノ六點デアリマス

其ノ一ハ本案ニ於キマシテハ國體ヲ變革スルコトヲ目的トスル犯罪ト、私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トスル犯罪ニ關スル規定ヲ各別個ノ條文ト致シ、又國體變革ニ關スル犯罪ニ付キマシテハ、刑種ヲ懲役ニ限リ禁錮刑ヲ削除致シマスト共ニ、刑ノ短期ヲ高メルコトニ依ツテ刑罰ヲ重化致シタ點デアリマス

其ノ二ハ本案ノ第二條ニ於テ支援結社、所謂外廓團體ニ關スル處罰規定ヲ新タニ設ケタコトデアリマス、御承知ノ如ク、各種ノ外廓團體ニ依ル共產主義者ノ組織的行動ハ、現行法實施以後ニ現ハレマシタル思想犯罪ノ新ナル態樣デアリマスガ、是等ノ外廓團體ハ專ラ日本共產黨ノ貯水池タルノ役割ヲ果シ、三・一五事件以來數次ニ互リ黨中央部ニ對シ致命的檢舉ヲ加ヘマシタニ拘ラズ、其ノ力ニ依ツテ黨ノ勢力ヲ順次補給シ、黨ノ再建ニ寄與致シマシタ一面、廣ク大衆ニ共產主義思想ヲ滲透傳播セシムルニ與ツテ力ガアツタコトハ顯著ナル事實デアリマス、即チ共產主義運動ニ對スル防遏ノ目的ヲ達シマスタメニハ、獨リ共產黨ノミヲ取締ノ對象トスルノデハ到底不十分デアルコトガ明カト相成ツタノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテハ、現行法ハ第一條中ニ於テ「結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行為ヲ爲シタル者」ト云フ規定ヲ設ケ、結社ノ外部ニアル者ニシテ結社ノ活動ヲ支援スル者ヲモ亦、結社加入者ト同様ニ處罰シ得ル途ヲ開イテ居リマスノデ、外廓團體構成員ノ行動ニ對シマシテモ、亦、結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行為ヲ爲シタル者トシテ、或ル程度マデ

ノ處罰ガ出來ルノデアリマスガ、其ノ組織

タノデアリマス

其ノ四ハ結社ノ程度ニ至ラザル集團ニ關

ルニ、宣傳啓蒙其ノ他危險ナル行動ヲ取締

キ類似宗教團體ニ對シテモ亦適用セラルル

者又ハ之ニ匹敵スル主動者ニ對スル刑罰ト

スル規定ヲ設ケタコトデアリマス、前述ノ

ル必要ガ多分ニアルノデアリマス、宣傳ハ

ニ至リマシタコトハ前述ノ通りデアリマス

シテハ輕キニ過グルバカリデハナク、規

定自體カラ申シマシテモ、外廓團體ヲ直接

ガ、是等ノ外過去ニ於テ人心ノ不安ニ乘ジ

無智蒙昧ナル一般大衆ヲ對象トシテ、神宮

ノ對象トシテ規定シテ居リマセヌ爲ニ、遺

憾ノ點ガ頗ル多イデアリマス、共產黨自

又ハ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ、其ノ他國民ノ國

體觀念ヲ惑亂スルガ如キ不穩不逞ノ教義ヲ

體ノ活動ガ殆ト休止セル狀態ニアリマス最

現行法ノ解釋トシテ、結社ハ共同ノ目的ノ

行爲トシテ檢舉處罰シ得ルノデアリマスガ、

結社ト關係ナク不逞目的ノ實行ヲ宣傳致シ

近ニ於キマシテモ、唯物論研究會其ノ他

爲ニスル特定多數人ノ任意ノ繼續ノ結合ニ

タ場合ニ於キマシテハ、全然之ヲ罰スベキ

規定ヲ缺イテ居ルノデアリマス、元來宣傳

一、二ノ典型的ナ外廓團體ヲ檢舉致シマシ

シテ相當結合カノ鞏固ナルモノデアルト解

ハ一定ノ事項ヲ不特定又ハ多數人ニ説明シ

且ツ懇ヘテ其ノ理解ト共鳴トヲ求メントス

タ事例モアリマシテ、現在ニ於テモ支援結

セラレテ居リマス爲、其ノ結社ノ要件ノ一

ル行爲デアリマスルガ故ニ、不逞ノ思想ガ

國民ノ腦裡ニ浸潤致シ、遂ニ國體觀念ヲ腐

社ノ處罰規定ヲ設クル必要ハ十分ニアルノ

ヲ缺ク場合ニ於キマシテハ、之ヲ結社トハ

蝕セシムルニ至ル危險ガアルノデアリマシ

テ、其ノ危險性ハ煽動ト殆ト軒輊ガナイノ

デアリマス、隨テ本案ニ於テハ、外廓團體

ニ關スル特別規定ヲ新設致シマスト共ニ、

デアリマス、殊ニ人民戰線方策ニ則リ、巧

妙且ツ陰謀ノ間ニ主義ノ宣傳ヲ爲ス行爲ハ

國體變革ヲ目的トスル結社ノ例ニ倣ヒマシ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

實ニ危險デアリマスガ故ニ、結社ニ關係ナ

ク不逞思想ヲ宣傳致ス行爲ヲ處罰スル規定

テ、支援結社ノ組織者及ビ之ニ匹敵スベキ

ヲ加入者又ハ目的遂行爲者ニ對シテモ之

ヲ新タニ設ケタ次第デアリマス、ソレト同

時ニ最近ニ於ケル運動情勢ガ分散ノ個別的

主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ノ採用以來ソノ運動態樣モ多岐多様ニ互

ルニ至リマシタノデ、取締ノ完璧ヲ期スル

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

テハ取締ノ完璧ヲ期シ得ナイノデアリマス

主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

テハ取締ノ完璧ヲ期シ得ナイノデアリマス

主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

テハ取締ノ完璧ヲ期シ得ナイノデアリマス

主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

テハ取締ノ完璧ヲ期シ得ナイノデアリマス

主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

テハ取締ノ完璧ヲ期シ得ナイノデアリマス

主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

テハ取締ノ完璧ヲ期シ得ナイノデアリマス

主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

テハ取締ノ完璧ヲ期シ得ナイノデアリマス

主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

テハ取締ノ完璧ヲ期シ得ナイノデアリマス

主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

テハ取締ノ完璧ヲ期シ得ナイノデアリマス

主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

テハ取締ノ完璧ヲ期シ得ナイノデアリマス

主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共

ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙ホ其

ハ、之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセ

ス爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシ

ヲナシ得ル場合ヲ擴張致シタコトデアリマス

御承知ノ通り思想犯罪ハ、組織的且ツ集團的デアリコトヲ一ノ特質ト致スノデアリマス、隨テ被疑者ノ數ハ相當多數ニ上ルヲ常ト致シマスルノミナラズ、其ノ多クハ相互ニ上下左右ノ組織的關係ヲ有シテ居リ、而モ其ノ組織ハ多クノ場合秘密組織デアリマス、而シテ其ノ複雜ナル關係ニアル

秘密組織ヲ搜查シ、或ル程度明確ニシタ後ニアラザレバ、特定ノ被疑者ガ如何ナル組織系統ニ屬シ、如何ナル地位、任務ヲ有シ、更ニ如何ナル徑路ニ依ツテ、又如何ナル目的ノ下ニ其ノ犯罪の活動ヲ遂行シタカヲ知リ難イ事情ニアリマス爲メ、隨テ搜查ニ相當長キ日時ヲ必要トシ、且ツ取調ニ際シ種々ノ困難ガ伴フデアリマス、加之思想犯人ハ確信犯人タル特性ヲ備ヘ、極メテ執拗ナル行動ニ出デマスル關係上、或ハ地下ニ潛入シ、或ハ偽名ヲ使用シ、或ハ一味ノ秘密ヲ嚴守シテ累ヲ他ニ及ボサザランコトニ專念致シ、搜查ノ衝ニ當ル者ニ對シテ容易ニ實ヲ告グズ、甚ダシキハ檢舉後數十日ヲ經過致シマシテモ、尙ホ其ノ氏名スラモ之ヲ供述シナイ者モアリマシテ、搜查ハ實ニ困難ヲ極メルデアリマス、又犯人中稍、重要ナル地位ニ在ル者ハ、廣範圍ニ互ツテ活動致スヲ常トシ、各地ニ多數ノ關係者ガ散在致スノデアリマスカラ、短日月ノ間ニ搜查ヲ終了致シマスコトハ、殆ド望ミ難イノデアリマス、殊ニ人民戰線方策ノ採用以來、其ノ活動ガ合法場面ヲ利用スル偽裝的ノモノニ立至リマシタ結果、其ノ現ハレタ行動カラ直チニ不逞思想ヲ看破致シ得ル場合ハ、殆ド稀デアリマシテ、合法利用ノ文化

運動ノ如キハ、實ニ山積スル證據品ヲ檢討シ、極メテ稀薄ニ表現サレテ居ル思想ヲ捕捉シ、之ニ依ツテ罪ヲ斷ズルノデアリマス、其ノ困難ニシテ且ツ時間ヲ要スルコト、申スマデモアリマセヌ

斯クノ如ク治安維持法ノ事犯ハ、搜查ヲ困難且ツ長期ナラシムル幾多ノ事由ヲ具備スル反面ニ於テ、一般犯罪者ト異ナリ、其ノ搜查ニ際シ被疑者ノ身柄ヲ拘束致シマセヌ時ハ、忽チ其ノ所在ヲ晦マシ、直チニ其ノ犯罪の活動ヲ繼續スルヲ常トスルノデアリマス、隨テ一旦檢舉致シタ以上ハ、其ノ終局處分ヲナスマデ其ノ身柄ヲ拘束シ、逃亡ヲ防止致シマスコトハ絕對ニ必要デアリマス、然ルニ現行刑事訴訟法ニ於テハ、御承知ノ如ク搜查機關ニ附與セラレタ強制搜查權ハ、極メテ狹イ範圍ニ限ラレテ居リマシテ、搜查上ノ必要ヲ殆ド充シ得ナイノデアリマス、仍テ本案ニ於テハ現行法制上搜查機關ノ中樞タル地位ヲ認メラレテ居リマスル檢察ニ對シ、相當廣範圍ノ強制搜查權ヲ附與シ、敏速適正ナル搜查ヲ實施セシメ、以テ治安維持ノ爲メ必要ヲ充足スルコト共ニ、其ノ濫用ヲ防止スル爲メ、強制搜查ヲ致シタ場合ニ於テハ、其ノ責任ノ所在ヲ明確ニ致スベク十分ノ配慮ヲ加ヘテ規定致シタ次第デアリマス

次ニ審判手續ニ於テ訴訟審ヲ省略致シタ點デアリマス、從來兇モスルト刑事裁判ガ敏速ヲ缺キ、甚ダシキニ至ツテハ檢舉後數年ヲ經過シテ尙ホ判決ノ確定ヲ見ザル事例モアリマシテ、斯クテハ刑罰ノ效果ヲ期待シ難キ憾ミヲ藏シテ居ツタノデアリマス、殊ニ治安維持法違反事件ノ如キハ、急速ナル裁判ニ依リ犯罪ノ鎮壓ト豫防トノ效果ヲ

舉ゲルコトヲ最モ必要トスル事案デアリマシテ、裁判確定セザレバ之ニ件フ社會不安ヲ解消セシムルコト困難ナル事例ニ乏シクナイノデアリマス、元來此ノ種事件ハ其ノ實體の内亂豫備ニ該當致スノデアリマス、現行刑事訴訟法ガ内亂豫備事件ヲ大審院ノ特別權限ニ屬セシメ、一審制ヲ採用致シタ立法趣旨ニ鑑ミマスルナラバ、此ノ種事案ハ極メテ敏速ニ處理致スコトガ必要デアアルコトハ申スマデモナイ所デアリマス、仍テ本案ニ於テハ審判手續ヲ敏速化スル爲メ控訴審ヲ省略スルヲ適當ト認メ、第一審ノ判決ニ對シ控訴ヲ許サザル旨ヲ規定致シタ次第デアリマス

本案ニ於テハ、前述ノ如ク辯護ニ關シ種ノ制限ヲ設ケマシタ、其ノ立法趣旨ハ、要スルニ被告人ノ辯護ニ名ヲ藉リタ所謂法廷鬭爭ヲ防止セントスル所ニアルノデアリマス、治安維持法ノ違反事件ノ審理ニ際シマシテ、屢、法廷鬭爭ガ行ハレマシタコトハ、既ニ御承知ノ事柄ト存ジマスノデ詳クハ申上ゲマセヌ、本案ニ於テハ斯カル事例ニ鑑ミ其ノ弊害ヲ防止スル爲メ、辯護士指定ニ關スル規定ヲ設ケタル共ニ、訴訟ノ敏速化ヲ圖ル爲メ辯護人ノ數ノ制限ニ關スル規定ヲ設ケ、且ツ訴訟ニ關スル書類ノ閱覽、謄寫ヲ制限シ得ルモノト致シタ次第デアリマス

次ニ管轄轉移ヲナシ得ベキ場合ヲ擴張致シタ點デアリマスガ、前述ノ如ク思想犯罪ハ組織的、集團的犯罪タル特質ヲ有シテ居リマスノデ、全國各地ニ互リ多數ノ關係者ヲ檢舉シ、起訴致シ場合ガ多イノデアリマス、事件ニ依リマシテハ各地ニ散在スル事件ヲ一箇所又ハ數箇所ノ裁判所ニ集中シテ審理ヲ致スコトガ、審理ノ敏速適正ヲ期

スル上ニ極メテ效果的デアル場合ガ多イノデアリマスガ、現行刑事訴訟法ノ管轄轉移ニ關スル規定ハ極メテ狹イ範圍ニ限ラレテ居リ、斯カル必要ヲ充シ得マセヌノデ、新タニ管轄轉移ニ關スル規定ヲ設ケ、審理ノ迅速適正ヲ期シタノデアリマス

最後ニ第三章ハ豫防拘禁ニ關スル規定ヲ新タニ設ケタノデアリマス、思想犯人ハ所謂確信犯人デアリマシテ、之ヲ實情ニ徴シマスルニ、一旦感染シタル思想ハ容易ニ拂拭シ難ク、刑ノ執行ニ依ルモ全然悔悟セズ、在監久シキニ互リナガラ轉向ヲ肯ゼザル者、若シクハ非轉向ノ儘刑ノ執行ヲ終了シ釋放セラレタル者、或ハ轉向ヲ偽裝シテ寬大ナル處置ヲ受ケタル者等、其ノ數相當多數ニ上ツテ居ルノデアリマス、而モ最近ノ共產主義運動ニ於テハ、活動ノ中心ヲ成ス者ノ多クハ斯カル非轉向分子、又ハ偽裝轉向分子ニシテ、刑ノ執行ヲ終了シタル者、若シクハ執行猶豫ノ處分ニ付セラレタル者デアリマシテ、中ニハ出獄後半歳足ラズシテ多數ノ同志ヲ結合シ、無垢ノ者ニ惡思想ヲ感染セシメタル事例モ少クナイノデアリマス、加之本年申ニハ所謂三・一五事件及ビ四・一六事件關係ノ非轉向巨頭分子ニシテ、出獄スベキ者ガ相當數ニ上ルノデアリマシテ、彼等ヲ現下ノ社會ニ放出致シマスコトハ危險極マリナイノデアリマス、而シテ斯カル詭激分子ハ思想犯保護觀察法實施ノ結果ニ徴シマスルニ、保護觀察ニ付スルモ到底改悔ヲ期待シ得ザル者デアリコト明白デアリマスノデ、茲ニ豫防拘禁ノ制度ヲ新設シタノデアリマス、即チ詭激思想ヲ拋棄セズ、再犯ノ虞顯著ナル者ニ對シ、國家治安ニ關スル危險ヲ豫防スル共ニ、危險ナル犯罪ヲ防遏

スルノ效果ヲ完璧ナラシムルガ爲メ、一定ノ條件ト手續ト下ニ之ヲ社會ヨリ隔離シ、惡思想ノ傳播ヲ防止シ、併セテ強制ノ方法ニ依リ思想ノ改善ヲ圖リ、忠良ノ日本人ニ立返ラシムルコトヲ以テ、豫防拘禁制度ノ主眼ト致スノデアリマス、而シテ本案ニ於テ規定致シテ豫防拘禁制度ハ、其ノ對象者ヲ治定維持法ノ罪ヲ犯シ、刑ノ執行ヲ終リテ出獄セントスル者、及ビ刑ノ執行終了若シクハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ原因トシテ、思想犯保護觀察法ニ依ル保護觀察中ノ非轉向分子ト致シタコト、檢事ノ請求ニ依リ、裁判所ノ決定ヲ以テ豫防拘禁ニ付スルコトト致シタコト、此ノ豫防拘禁ノ期間ヲ二年トスル相對的定期制度ヲ採用シタルコト、行政官廳ノ處分ヲ以テ何時ニモ退所セシメ得ルコトト致シタコト、豫防拘禁委員會ヲ設ケ豫防拘禁ノ請求、更新及ビ退所ニ付キ委員會ノ意見ヲ求ムルコトヲ要ストナシタコト、及ビ決定確定前ニ於ケル檢事及ビ裁判所ノ強制權ヲ或ル程度認メタコト等ヲ其ノ骨子ト致スノデアリマス

以上ガ改正ノ主要ナル點デアリマスガ、大體ニ於キマシテ、國體變革ニ關スル行爲ニ付キ特ニ其ノ罰則ヲ強化徹底セシムルコトニ重點ヲ置キ、現在ノ實情ニ即シ、思想犯罪ノ處理ノ敏捷適正ヲ圖リ、其ノ豫防及ビ鎮壓ノ作用ヲ、一層效果的ナラシムル趣旨ニ出デテ居ルノデアリマス、何卒慎重御審議ノ程ヲ御願ヒ申上ゲマス

○服部委員長 委員長ヨリ一言申上ゲマス、議事ノ進行ヲ圖ル上ニ於テ審査ノ順序ヲ定メテ置キタイト存ジマス、先ヅ最初ニ法案全般ニ互ル總括的質疑ヲナシ、次ニ第一章、第二章、第三章ノ順ニ逐條審議ニ移リタイト思ヒマス、尤モ左様正確ニモ參ラナイ場合モアルト思ヒマスルガ、委員諸君ニ於カレマシテモ大體右ノ順序ヲ御含ミ置キ下サルヤウ御願ヒヲ致シマス、次ニ資料ノ要求ハ委員長ノ手許ニ取纏メテ、之ヲ政府ニ移牒致シマスカラ、書面ニシテ委員長マデ御提出ヲ願ヒマス、尙ホ速記記録記載ハ委員長ヨリ其ノ手續ヲ致シマス

○田村委員 今ノ資料要求デスガ、是ハ今政府委員モ居ラレマスカラ、口デ言ウテモ宜イデセウ

○服部委員長 ソレデハ資料ノ要求ハ此處デ口頭デ御述べ下サツテモ結構デアリマス、一寸速記ヲ止メテ下サイ

〔速記中止〕

○服部委員長 ソレデハ速記ヲ御願ヒシマス藤田君ニ發言ヲ許シマス

○藤田委員 私ハ一ツダケ資料ヲ御願ヒ致シタイノデアリマス、ソレハ岡田内閣ノ時ニ治安維持法ノ改正案ガ出タコトガアルノデアリマスガ、其ノ時ノ條文ト今回御提案ニナリマシタ條文ト對照シテ見タイト思フ、私ハアノ時ニ大分審議ヲ致サレマシテ、サウシテ結論ニ達セズシテ會期ヲ終ツタヤウニ思ヒマスノデ、條文ヲ見サヘスレバ直ダニ私ノ頭ニ其ノ時ノコトガ想ヒ出サレルノデアリマスカラ、ソレデ資料ト致シマシテ、岡田内閣當時ニ御提案ニナリマシタアノ案ヲ一ツ戴キタイ

○田村委員 私カラモ資料ノ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、一ツハ最近ノ轉向者ノ數ト、其ノ轉向者ニ對スル政府ノ取扱ノ狀況、之ヲ一ツト、ソレカラ今一ツハ私有財産制度ヲ否認スル行爲ヲ處罰シテ居ル世界ノ立法例ガ御分リデアリマシタラ、御提出

願ヒタイ

○猪野委員長 議事進行ニ付テ——是ハ國體トカ私有財産ナドニ關スル頗ル重要ナ法案デ、是非總理大臣ニ伺ツテ見タイコトガアリマスガ、新聞ニ依ルト總理大臣ハ御病氣デ臥床中ト云フコトデアリマスケレドモ今日ハ御出席ハアリマセヌカ、又ドノ程度ノ御病氣デアルカ、調べテ一ツ御報告ヲ願ヒタイト思ヒマス

ハ共產黨ハ言フマデモアリマセヌ、其ノ外廓團體、ソレカラ今後新シク含マレル類似宗教團體、是ハ檢舉サレタモノデ宜シイ、檢舉サレナイモノヲ御出シニナルコトハ相當問題ダと思ヒマスカラ、サウ云フ團體ノ掲ゲテ居リマシタ綱領トカ、主張トカ、サウ云フモノガ御手許ニアルト思ヒマスカラ一ツ揃ヘテ御出シヲ願ヒタイ、審議上參考ニシタイト思ヒマス、ソレカラ拓務省ノ政府委員ガ來テ居ラレルカドウカ分リマセヌガ、拓務省ノ方モ此ノ治安維持法ノ改正ト同時ニ、朝鮮ニモ臺灣ニモ南洋群島ニモ關東州ニモ施行サレルノデアリマスカラ、拓務省ノ方モ今申上ゲタ同ジモノヲ調べ戴キタイ、殊ニ朝鮮、臺灣、關東州方面ニ付テハ事變後ノ民族運動ニ付テ御調査願ヒタイノデアリマス、近頃民族運動ノ形態ハ大分變ツテ來テ居ルト思ヒマス、ソレカラ茲ニ所謂第一條該當ノ犯罪行爲ニ付テモ、所謂共產主義ノ運動ト民族主義ノ運動トハ大分變ツテ來テ居ルモノガアルト思ヒマスカラ、極ク簡單ナ表デ宜シイ、此ノ法ハ内地ダケデナク、外地ニ適用サレル關係上、殊ニ朝鮮、臺灣方面ガ重要デアリマスカラ、サウ云フ方面ノ資料ヲ此ノ際御提出願ヒタイ、是ダケ私カラ御願ヒ致シテ置キマス

其ノ一ツハ被檢舉者ノ職業別、年齡別、學歷別調、是ハ起訴ニナツタ者モ起訴ニナラナイ者モ全部含メテデアリマス、其ノ次ハ檢舉釋放後ノ再檢舉者調、一遍檢舉シテソレカラ釋放シタ者ノ檢舉者、是ハ檢舉シテ起訴シナイデ釋放シタ者ト、ソレカラ一旦刑ニ處シテ後ニ出獄シタ者、其ノ兩方ニ付テ調べ戴キタイ、ソレカラ次ハ檢舉釋放者、出獄者モ含ミマス、サウ云フ者ノ動態調査、是ハ大體内務省ト司法省、兩方ノ觀察線内ニ入ツテ居ルト思ヒマス、ドウ云フ職業ニ就イテ居ルカ、全ク觀察ノ要ノナクナツタ者ハドノ位居ルカ、別ノ保護觀察、規定ニ依ツテ保護觀察シテ居ル者ハドレダケアルカ、サウ云フ方面ノ御調べ願ヒタイ、是ハ改正法ニ含マレル新シイ部分デ非常ニ重要ナ資料ニナリマスカラ御願ヒシタイノデアリマス、ソレカラ次ニ本法ニ依ツテ檢舉サレタ團體、是

○中村(高)委員 類似宗教團體ノ數ナドハ大體分リマスケレドモ、是等ノモノガドウ云フ主張ヲ持ツテ、ドノ點デ治安維持法ニ掛ツテ居ルノカ、其ノ大體ノ主ナル主張ト判決ノ結果、ドノ點ニ依ツテ治安維持法ニ斷ゼラレテ居ルノカ、之ヲ一ツ御提出願ヒタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ、是ハ秘密會ノ時デモ結構デアリマスシ、必ズシモ資料トシテ書面デ御提出ヲ願ハナクテモ

宜イノデスガ、獨立運動ニ對シマシテ今度改正法案デハ取締ルト云フコトデアリマスガ、是モ一ツ獨立運動ニ關シマシテ御調査ヲ願ツテ、秘密會ノ時デモ御報告願ヒタイ

○泉委員 資料トシテ書面出シテ戴ケナケレバ、ヤハリ秘密會カ何カ適當ノ機會ニ御話ヲ承ツテモ宜イノデスガ、今戴キマシタ資料ノ中デハ昭和十五年マデノ分ガアルヤウニ一寸見受ケマシタガ、其ノ後ニ於ケル一般ノ思想犯罪ノ檢舉狀況ヲ、若シ書面デ戴ケレバ書面、出來ナケレバ別箇ノ方法デ結構デスカラ承リタイと思ヒマス

○田村委員 議事進行ニ付テ申上ゲマス、是ハ御相談デスガ、先程委員長ハ、最初ニ大體ノ總括的ノ質疑ヲシテ、ソレカラ章別ニ依ツテ逐條審議ヲシタラドウカト云フ御話デゴザイマシタガ、總論的ノ質問ヲズツト希望者ガヤツテシマツテ、ソレカラ又各章別ニ依ツテ希望者ガズツトヤツテ行クコトニナルト、大變區別ハ付クヤウデアリマスガ、却テ煩雜ヲ來スノデハナイカト思ヒマス、ソコデ大臣ナラ大臣ガ來ラレタ時ニ、大臣ニ對スル質問ハオ互ヒニ成ベク割愛シ合ツテ、極メテ總括的ノ質問ヲ讓合ツテヤルコトハ結構ト思ヒマスガ、其ノ他ノ質問ハ、質問者ガ逐條審議ヲヤル時ニハ一章ヅツ別々ニ順ヲ逐ツテヤツテ行クヨリハ、其ノ人其ノ人デ逐條審議ヲ終ツテ行ク方ガ議事進行上撈ルノデハナイカト思ヒマス、質問者ノ立場カラ申シマシテモ、第一章ダケノ質問ヲシテ、ソレヲ濟マシテ、ソレカラ次ノ人ガ第二章ノ質問ダケヲヤルコト云フコトニナルト、質問ノ脈絡モ少シ變ナモノニナリハシナイカト思ヒマス、ソコデ是ハ御相談デアリ、私ノ考ヘ方ナノデスガ、大臣ノ

御出席ノ時ニハ先程申上ゲタヤウニ、オ互ヒニ割愛シ合ツテ少シヅツデモ總括的ノ質問ヲスル、サウシテ總論並ニ逐條ハ質問者ノ適宜ニヤツテ行ヤウニスル、其ノ間ニ關聯ハアリマセウガ、出來レバサウ云フ風ニセラレタ方ガ質問ノ處理上却テ進捗スルノデハナイカト思ヒマスノデ、御相談旁、私ノ希望ヲ申上ゲマス

○藤田委員 是ハドノ位ノ間デ片付ケル積デアリマスガ、委員會ヲ何日モ一開イテヤレバ質問モ十分出來マスガ、併シ大體委員諸君ガ大イニ勉強サレ、政府ノ答ヘヲ能ク聽イテ重複ヲ慎ミサヘスレバ、サウ多ク開カクテモ片付ケト思ヒマスガ、大體何日位デ片付ケラレル積デアリマスガ、ソレヲ伺ツテ置キマス、是ハドウシテモ必要ナ退ツ引ナラス法案デアリマスカラ、唯條文ニ付テノ疑義ノアルモノヲ質シテ、ドンドン片付ケテ行クノガ本當デハナイカト思ヒマス、ソレデ何回モ一御開キニナルカ、或ハ三回位デ片付ケラレル積デアリカ、若シ三回位デ片付ケラレルナラ、吾々ノ質問ヲ整理シナケレバナラスシ、何回モヤルノデアツタナラバ、整理シナクテ十分質シテモ宜イノデアリマス、其ノ點一ツ御示シテ願フテ置ケバ宜イト思ヒマス

○服部委員長 宜シウゴザイマス

○眞鍋(勝)委員 資料ノ要求ヲ致シマス、共產主義者ノ各府縣別ノ現在ニ於ケル分布狀態ト云フモノヲ御提出願ヒマス、ソレカラ翼賛會トカ、企畫院ニ大分赤ノ思想ノ者ガアルト云フコトデアリマシテ、ソレヲ取調ベテアリマシタラ、ドウ云フ狀態ニアルノカ、ソレノ御調べヲ御提出願ヒタイと思ヒマス

○三田村委員 先程ノ田村君ノ議事進行ニ關スル發言ニ關聯シテ一寸申上ゲタイと思ヒマス、ソレハ總論カラ各論、逐條審議ニ入ルヤウニシタイト云フ御話デゴザイマシタガ、是ハ質問者ガ一人デアレバ其ノ通りニ全部スラ一ト行キマスガ、質問者ガ多勢デアル場合ハ、質問者各、認識ノ角度ガ違ヒマスシ、色々ナ方面カラ物ヲ見直シテ見タイニ違ヒナイ、又全體ニ互ツテ質問シタイト云フノデナクテ、部分的ノ質問ヲ試ミタイ人モアルト思ヒマスカラ、田村君モ今言ハレタヤウニ初メニ總論ダケ片付ケテシマツテ、アト各論逐條審議ヲヤルノハ困難デハナイカト思ヒマス、私ハ委員長ニモ御願ヒシタイノデスガ、此ノ法案ニ付テドウシテモ質疑ヲ試ミタイ、法案審議上政府ノ方カラ聽キタイコトハ聽ク、政府ノ十分考慮ヲ促シタイ點、言ヒタイコトハ言ハナケレバナラスト云フ人ハ、ズツト審議期間中出テ居ツテ戴ケレバ重複ガナイト思フ、既ニ濟ンダコトハヤラナイ、自分デ聽キタイト思フタコトデモ、他ノ委員諸君ガ聽イテ其ノ要點ノ明カニナツタモノハ止メルト云フコトニスレバ、委員長ノ御心配ノ重複スル點モナクナルト思フ、大體總論モ各論モ全體ニ互ツタ質疑ガ行ハレルト思ヒマスカラ、初メニ總論ダケヤツテ、アト各論ヲヤルト云フコトハ中々困難ダラウト思ヒマス、其ノ點理事ノ諸君ト御打合せノ上、一番良イ方法デヤツテ戴キタイと思ヒマス

○服部委員長 承知致シマシタ

○三田村委員 ソレカラ此ノ審議期間ノ間題、今藤田委員カラ御發言ノアリマシタ問題デスガ、私モ同ジヤウナ考ヘヲ持ツテ居ルノデス、必要ナモノドドウシテモヤラナ

クレバイケナイ、議會ノ會期ヲ短クスルカラ大急ギデヤルト云フノナラ、是ハ簡單ニヤツテシマツタラ宜イ、ドウセ修正スル點モナイト思ヒマス、ソレナラ極ク簡單ニヤツテシマツテ宜イト思ヒマスガ、勿論此ノ法案其ノモノヲ修正スルトカ、其ノ成立ヲ希望シナイトカ云フノデナクテ、立法スル者ノ態度トシテハ、十分ニ徹底的ニ各般ノ事情ヲ檢討シテ、政府自身ノ今日持ツテ居ルモノニ國民的感覚ヲ映シテ行ク、其ノ運用ノ上ニモ、乃至ハ檢舉其ノ他取締ノ方面ニ於テモ、十分今日ノ一般民情、思想、動向其ノ他吾々ガ政治的ノ感覺ヲ以テ見ル所ヲ聽イテ貫ツテヤツテ行クト云フコトモ、必要デハナイカト思ヒマス、デスカラ審議ハ十分ヤリタイ、審議ハ十分ヤツテ、サウシテ政府ノ意圖スル所ヲ十分聽キ、議會トシテ政府ニ言ヒタイコトハ十分言フ、サウシテ思想國防ノ徹底ヲ期スルト云フコトニスル方ガ、私ハ立法スル者ノ態度デハナイカト思フノデ、餘リアツツサリ簡單ニ此ノ法案ヲ片付ケテシマハレナイヤウニ、御願ヒシタイト思ヒマス

○服部委員長 承知シマシタ、後デ能ク理事諸君ト協議ヲシマシテ申上ゲマス

○藤田委員 私、新聞デ見タノデスガ、政府ノ重要法案ヲ大體今月一パイニモ片付ケテシマフト云フヤウナ方針デ、行ツテ居ルノデハナイカト思フ、サウ致シマス、モウ今日ハ十二日デアリマスカラ、一週間位デ結論ニ達シテ貴族院ニ送ラスト、衆議院デ本月一パイ使ヘバヤハリ貴族院モ三月ニ入ラナクテハ審議ガ出來ズ、此ノ法案ハ成立シナイ、斯ウ云フコトニナルノデアリマス、一體戰時議會トシテノ吾々ノ態度ハ、

政府ニ質スベキコトハ質スガ、審議ヲ何回モ何回モ繰返スト云フコトハ吾々ノ態度デハナイ、ソレデ私ハ先刻何回位デ片付ケルカト云フコトヲ御相談サレナイカト申上ゲタノデスガ、私ハ委員會ハ三回モ開ケバ宜イノデヤナイカト思フ、岡田内閣ノ當時治安維持法ガ出デ参ツタ時ニ、國體變革ト云フコトノ唯、一條文デ繰返シノ議論ヲシタ、モウ私ハ愛想ガ盡キタ、岡田總理大臣ハ法律家デモ何デモナイ、法律家デモ何デモナイ總理大臣ヲ引捕ヘテ、サウシテ統治權トハドウカト云フ憲法ノ解釋ノ口述試驗ヲ繰返シノヤツテ、呆レテシマツタコトガアル、ソレデモ聽ク方カラ言ヒマス、ヤハリ其處マデ聽イテ見ナケレバイカスト云フ觀點カラ言フノデアリマスカラ、文句ノ言ヒ様ガナイ、デアリマスカラ、是ハオヒニ自肅シテヤルカヤラヌカノ問題デス、ソレデ御申合セガアレバ一番宜イノデヤナイカ、斯ウ思フノデス

○服部委員長 承ツテ置キマス
○藤田委員 承ツテ置クデハイカヌデハナイデスカ
○服部委員長 ソレハ理事ノ諸君ト御相談ヲ致シマシテ、御諮リ致ス機會ガアルト思ヒマス——ソレデハ此ノ程度デ午後二時マデ休憩致シマス
午前十一時二十六分休憩

午後二時八分開議
○服部委員長 午前ニ引續キマシテ開會ヲ致シマス、此ノ際委員長カラ議事ニ付テ一言申上ゲマス、初メニ大體論ニ付テノ質問ヲ一巡致シマシテ、次ニ改メテ逐條質疑ヲ一巡シタイト思ヒマス、尤モ此ノ定メハ時

宜ニ依ツテ適宜變更アルベシト御承知ヲ給ハリタイト思ヒマス、田村君ニ御答シテ置キマス、是ヨリ質疑ヲ始メマス——田村君

○田村委員 内務大臣ガ御出席デアリマスノデ、私ハ内務大臣ニ對シ根本問題ダケニ二御質問致シマシテ、時間ノ餘裕ガアリマスレバ、同僚諸君ニ御質問ヲ願フト云フコトニ致シタイト思ヒマス、今回治安維持法ノ根本的改正案ガ出テ、私ハ時局柄極メテ有用ナル改正デアルト思フノデアリマス、茲ニ第一章ノ罪ノ中ニ國體變革ヲ企圖スル罪ト、私有財産制度ヲ否認スル罪トハ罪質ヲ異ニスルト云フノデ、現行法ノ如ク一箇條ニ一揃ニ規定セズシテ之ヲ別々ニ規定スルコトニナツタノハ、法文トシテハ妥當ダト思フノデアリマス、唯所謂共產思想ニ對シテ私共ノ抱ク憂トスル所ハ、我が國ニ左翼思想、共產主義ヲ以テ國體變革ヲ企圖スルト云フヤウナコトヲ考ヘテ運動スル者ニ對シテハ私共ハ惧レヲ抱イテ居ナイ、サウ云フコトデ日本國民ニ對シテ國體ノ變革ヲ表面カラ謳ツテ來タ場合ニ、之ニ感染スル者ハ凡ソ日本國民ノ中ニハ殆ドナイト確信シテ居ル、ソコデ國體變革ヲ企圖スル所ノ表面ニ現ハレテ來ル運動ヨリモ、其ノ假面ヲ被ツテ裏面ニ國體變革ノ思想ヲ藏シテヤツテ來ル運動ガ、一番怖イノデアリマス、内務大臣ハ特ニ此ノ方面ニ對シテハ御研究モ深イシ鍊達ノ方デアリマスカラ、此ノ點ニ對スル内務大臣ノ御觀測竝ニソレニ對スル御方針ヲ、此ノ際承リタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 只今御質問ノ趣意ハ所謂國體擁護若シクハ皇道主義ノ假面ヲ被ツテ共產主義ノ運動ヲスル、斯ウ云フ傾向ガ

今日アル、是ハ非常ニ危險ナモノデアラウト云フコトヲ御述ベニナツタ、私モ其ノ通リデアルト考ヘマス、元來是マデ、先年檢舉ヲ致シマシタ所謂共產主義運動、「コミンテルン」ノ運動ハ表面ヤハリ國體破壞等ヲ標榜致シテ居ツタノデアリマス、今日ハ御話ノ通り運動ガ非常ニ巧ミニナツテ参リマシテ、全部サウデモアリマセヌガ、共產主義ヲ標榜致シマシテ、其ノ標榜スル所ハ所謂共產主義ニ止マツテ居リマシテ、其ノ實ハ革命、其ノ極端ニ参リマスルノハ國體破壞ノ思想、是ハ最モ怪シカラヌ運動デアリマスルカラ、之ニ對シマシテハ嚴重ナル取締ヲシナケレバナラヌコトデアリマスルガ、隨テ今回ノ治安維持法ノ改正ニ付キマシテモ二ツニ分ケマシタカラシテ、一方ノ共產主義運動、所謂私有財産否認ト云フ條項ニシカ表面ハ當ラヌコトニナリマスルガ、併シハ能ク取締ヲ進行致シマスレバ、自ラ是ハ一ツノ「カモフラージュ」デアルカ、或ハ其ノ考ヘテ居ル所ハ國體ノ變革マデニ至ラヌノデアルカ、ソコハ能ク調べマスレバ是ハ明瞭ニナツテ參ルデアラウ、其ノ取締ノ方法ハ自ラ當局ニ於キマシテ、是ハ多年研究モ致シテ居リマス、其ノ真相ハ必ズ之ヲ明カニスルコトガ出來ルノデアラウト考ヘテ居リマス、御話ノ通り今回條文ヲ二ツニ分ケマシタ結果、其ノ標榜スル所ハ私有財産否認ニ止マルト云フ理由デ或ハナル場合モゴザイマセウ、併シ本當ノ思想、之ヲ能ク探求致シマスレバ、假令表面ハ私有財産ノ否定ニ止マツテ居リマシテモ、本當ニ國體變革マデノ考ヘヲ持ツテ運動ヲ起シテ居ルト云フコトヲ、明確ニスベキ手段ハアラウト思ヒマス、若シ其ノ方ニ屬シマスル

モノデアリマスレバ、ヤハリ國體ノ變革ノ方ノ條文ニ依ツテ之ヲ處斷スルコトガ出來ルニ至ルデアラウト思ヒマス、ソコハ之ヲ取調ベル官憲ノ働キニアルコトデアラウト考ヘマス、併シナガラ本當ニ私有財産ノ否定ダケデアリマスレバ、國體ノ變更ヲ腹ニ持ツテ居ル者ニ比スレバ輕イノデアリマ

ガ、今條文ヲ別ケマシタコトハ理由ノアルコトト思ヒマス、實際ノ取調ノ結果ドチラニ参リマスカ、是ハ實際ヲ見ナイト分ラナイノデアリマス、只今御心配ノ點ハ當局ニ於テモ能ク承知ハ致シテ居リマスガ、大體處分ノ外ハ只今申述ベマシタ通りニ落付クデアラウト考ヘテ居リマス

○田村委員 國家ノ根本思想對策ガ立テラレテ行カケレバナラヌト思フノデアリマスガ、之ニ對スル内務大臣ノ御所見ヲ承ハリタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 大體御述ベノ通りニ考ヘテ居リマス、元來思想對策トシテ國民ノ健全ナル思想ヲ養フト云フコトハ、一口ニ申セバ教育ノ方面ニ於テヤラナケレバナラヌコトデアリ、學校教育、社會教育、家庭教育、其ノ他總テ教化ノ方面ニ於テ十分ニ努メナケレバナリマセヌ、是ガ爲ニハ今後種種ノ施設モ要シマセウシ、又單ニ施設バカリデハイケマセヌ、其ノ衝ニ當ル人、國家ノ儀表トナルベキ地位ニアル人ガ本當ニ堅實ナル思想ヲ以テ之ヲ行ヒノ上ニ現ハス、所謂實踐躬行、以テ範ヲ示スト云フ覺悟ガナケレバナラヌト考ヘルノデアリマス、之ニ依リマシテ十分教化ノ方面ニ力ヲ盡シ、尙ホ之ニ洩ルルモノガアリマシタナラバ、是ハ法規ヲ以テ取締リ、之ニ對シテハ徹底

的ニ彈壓ヲ加ヘルコトガ必要デアルト考ヘテ居リマス、即チ先ヅ教育ニ依ツテ教化ニ努メ、尙ホ之ニ違フ者ハ法ニ從ツテ彈壓ヲ加ヘル、此ノ方針ハ勸カスベカラザルモノデアルト考ヘテ居リマス

○中村(高)委員 一寸關聯シテ内務大臣ニ一ツダケ御伺ヒヲシテ置キタイノデアリマスルガ、本法ノ改正案ノ一部ヲ成シテ居リマスル、私有財産制度ノ否認ニ付キマシテ、共產主義思想ノ根柢ヲ成シテ居ルノデアリマスカラ、之ヲ嚴罰ニ致スト云フコトハ當然ト存ズルノデアリマスルガ、私有財産制度ノ否認ト云フ觀念ニ非常ニ難カシイ點ガアルト私ハ思フノデアリマス、廣イ意味ニ致シマスルナラバ、個人ノ財産ニ對シテ或ル種ノ制限ヲ加ヘルト云フヤウナコトモ、是モ亦廣イ意味ニ於テハ私有財産制度ニ對スル一ツノ制限デアルト思ヒマスルガ、特ニ今日時局下ニ於キマシテ資財ノ不足或ハ勞力ノ不足、或ハ配給ノ圓滑ヲ期スル爲ニ、已ムヲ得ズシテ今日個人ノ財産ノ使用、收益、處分或ハ經營ト云フヤウナ方面ニ對シマシテ、國家ノ目的ヲ達スル爲ニ相當ニ個人ノ財産ニ對シマスル所ノ制限ト云フモノガ、加ヘラレテ居ルト思フノデアリマス、是ハ私ハ時局ヲ乘切ル爲ニハ或ル點マデハ個人ノ慾望ト云フモノニ對シテ制限ヲ加ヘルト云フコトハ、已ムヲ得ナイコトダト思ツテ居リマス、然ルニ之ニ對シテ一方ニ於テハ統制經濟ノ強化セラレコトニ對シテ、之ヲ赤ダトカ或ハ共產主義ノ思想カラ出テ居ルノダト云フ言葉ニ依リマシテ、統制經濟ニ對スル反響ヲ加ヘヨウト云フヤウナ思想ガアルト云フコトヲ、私達ハ今日見ルノデアリマスガ、聞ク所ニ依リマスルト、政

府ニ於キマスル經濟新體制ノ原案ノ檢討ノ際ニ於キマシテモ、企畫院デ作ラレタ原案ニ對シテ、是ガ共產主義思想デアルトカ、或ハ「コミンテルン」ノ指令ニ基クモノダトカ、色々ノ議論ガ行ハレタト云フヤウナコトヲ聞イテ居ルノデアリマスルガ、時局下已ムヲ得ナイ統制デハアリマスルガ、一方ニ於テハ之ニ共產主義思想ナリト稱シテ反響ヲ加ヘテ來ルト云フヤウナ、思想ナリ運動ナリガアルト云フノデアリマスルガ、之ニ對シテハ私ハ斯ウシタ時局ノ際デアリマスルカラ、其ノ點ニ付テハ一ツ明確ナル態度ヲ御持チニナツテ、此ノ時局ニ於ケル統制經濟ニ對スル御方針ヲ、定メテ戴キタイト思フノデアリマス、私ガ内務大臣ニ御尋ネヲ致シタイノハ、サウ云フ今日ノ時局下ニ於テ行ハレテ居リマスル議論ノ中デ、例ヘテ見マスルナラバ財産ノ奉還論、或ハ財産ノ國有論、土地國有論ノ如キモ其ノ一ツデアリマスルガ、斯ウシタ主張ガアリ、或ハ演說會等デ斯様な意見ヲ述ベタリシテ居ル者ガ相當ニ多イノデアリマシテ、吾々ハ財産奉還論トカ國有論トカ云フモノガ、直チニ私有財産制度ヲ否認スルモノダト考ヘマセヌガ、先日大政翼賛會ノ或ル人ガ、或ル經濟團體ノ講師ニ派遣ヲサレテ、其ノ人ガ財産奉還論ヲ非常ニ熱烈ナル氣持デ御ヤリニナツタサウデアリマス、此ノ人ハ數日後ニハ大政翼賛會ヲ誡ニサレタサウデアリマシテ、私ハ此ノ戰時下ニ於キマシテ一體許サレベキ私有財産制度ニ對スル議論ノ程度ト云フモノハ、ドウ云フ所ニアツテ宜シイノカ、財産奉還論トカ、或ハ國有論ト云フヤウナ議論モ許サレヌカ、斯ウ云フコトニ關シマシテ私有財産制度ニ直接深イ關

係ガアルノデアリマスカラ、ドウゾ内務大臣カラ御意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○平沼國務大臣 私有財産否認ト云フコトハ、治安維持法ニ於キマシテハ取締ルコトニナツテ居ルノデアリマス、詰リ私有財産ヲ否認スルト云フコトハ、根本的ニ私有財産制度ト云フモノヲ破壞スルハ思想デアラウト思フノデアリマス、併シナガラ、現今ノ時局デアリマシテモ、又或ハ平時デアリマシテモ、程度ノ相違ハアリマセウガ、在來ノ所謂自由主義ト申シマスカ、其ノ法制下ニ於ケルヤウナ狀態デ置クト云フコトハ、是ハ到底今後ハ出來マイト考ヘテ居リマス、隨テ私有財産ニ對シマシテ制限ノ加ハルト云フコトハ、是ハ免レヌコトデアリマス、私有財産ヲ制限スルト云フ議論ガ、是ガ私有財産ノ否認ニハ無論ナラヌト思ヒマス、ソコノ區別ハ理論ノ上デハ明白デアラウト思ヒマス、唯實際ノ運用ト致シマシテハ是ハ能ク檢討致シマセヌト、此ノ行爲ガ罪ニ當ルトカ當ラヌトカ云フコトヲ判斷スルコトハ、餘程檢討シナイト難カシイ、唯制限々々ト申シマシテモ、其ノ制限ガ極端ニナレバ否定ニナル、ソコハモウ事實ノ問題デアラウト思ヒマス

リマスルナラバ勾留スルコトガ出來ルヤウニナツテ居リマス、モウ一ツハ豫防拘禁ノ所ニ依リマス、檢事ガ豫防拘禁ノ最高二年マデヲ拘禁スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマスガ、斯クノ如キ長期ニ互ル勾留、拘禁ト云フコトヲ檢事ノ處分ニ依ツテ出來ルト云フコトガ、今日憲法ニ規定ヲ致サレテ居リマスル日本臣民ハ裁判官ノ裁判ヲ受ケル權利ヲ奪ハレルコトガナイト云フ憲法ノ規定ガアルノデアリマスガ、裁判官ニアラズシテ、裁判官ノ行フガ如キ、長期ニ互ル勾留、拘禁ヲスルト云フヤウナコトハ、憲法ニ低觸スル嫌ヒガアルノデハナイカト云フ、疑ヒヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、斯クノ如キ長期ノ勾留拘禁ヲ、檢事ノ處分ニ依ツテ行ハレマスコトハ、憲法ニ低觸致サナイカドウカ、此ノ一點ダケヲ一ツ御答ヘヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○平沼國務大臣 只今檢事ノ勾留處分ニ付テノ御尋ネデアリマスガ、其ノ點ハ司法大臣カラ詳シク御答ヘニナラウト思ヒマスガ、特ニ私ニ對シテノ御尋ネデアリマスカラ御答ヘ致シマス、御承知ノ通りニ在來ノ制度ニ於キマシテハ、強制處分ハ原則トシテ裁判所ノ處分ニ屬シテ居リマシテ、令狀ハ裁判所若シクハ豫審判事ノ令狀ガ必要トセラレテ居リマス、併シ今日デモ或ル例外ト致シマシテ、檢事若シクハ司法警察官ガ、強制處分ヲ用ヒ得ル範圍ヲ定メテ居リマス、今回ノ治安維持法ニ於キマシテハ之ヲ擴大シテ、此ノ種ノ犯罪ニ付キマシテハ、是ハ中中急速ヲ要スル場合ガ多イノデアリマスカラ、檢事ニソレダケノ權限ヲ持タシテ置キマセヌト實際ノ效果ヲ擧ゲルニ付キマシテ、

極メテ不便ガ多イダラウト考ヘマス、ソレ故ニ檢事ノ強制處分ノ權限ヲ擴大シタノデアリマス、豫防拘禁ハ裁判所デアルコトニナツテ居リマスガ、無論檢事ノ請求ニ依ツテナル譯デゴザイマス

○藤田委員 御尋ネ申上ゲルノハ司法省關係デアリマスガ、此ノ際内務大臣閣下ニ御教ヘテ戴キタイノデアリマス、ソレハ第一條「國體ヲ變革」トアル國體ト云フコトニ付キマシテハ、我が國ノ國體ト云フコトハ常識的ニハ分ツテ居リマセウ、併シ是ハ考ヘテ見マス、色々疑義ヲ生ジテ來ハシナイカト思フノデアリマスカラ、内務大臣ヨリ明確ナル國體ト云フモノノ定義ニ付テノ御意見ヲ、御發表願ツテ置キマスレバ、洵ニ治安維持法ガ實際ニ行ハレル上ニ於テモ、鮮明ニ相成ルト存ズルノデアリマス、普通ノ常識カラ考ヘルト、政體ト國體ト混同シテ居ル頭モアリマスシ、色々意見モアリマセウシ、又今日マデ多クノ學者ノ説ニ依リマシテモ、又此ノ學者ノ説ニハ全然許スペカラザルヤウナ意見モアリマシタヤウナ譯合ナノデアリマス、本法モ本議案ノ第一章ノ頭ニアルヤウニ、國體ヲ變革スルコトヲ目的トシタル者ヲ罰スルノデアリマスカラ、國體ト云フモノハ如何ナルコトヲ意味スルカ、國體ノ觀念ニ付テハツキリト一ツ定義ヲ御與ヘ下サイマスレバ、洵ニ仕合セト存ズルノデアリマシテ、御教ヘテ戴ク譯デアリマスカラ御願ヒテ致シマス

○平沼國務大臣 現今國體ノ觀念ハ國民全體ガ諒解ヲ致シテ、我が國體ニ付テ疑ヒノアル者ハナイヤウニ考ヘマス、唯之ヲ文章ニ書キ、或ハ口ニ表ハスト云フコトニナリマス、人々ニ依ツテ或ハ言葉ノ用ヒヤウ

ガ違フカモ知レマセウ、是ガ爲ニ色々是非ノ論モ生ズルノデアリマセウガ、大體國體ト云フコトニ付テノ其ノ實質ニ付キマシテハ、國民全體誤リハナイ積リデアリマス、是ハ私が申スマデモナイコトカト存ジマスガ、唯今御疑ヒノ點ハ、色々學者ノ申シテ居リマスコトニ、言葉ノ用ヒ方違フ爲ニ、サウ云フ御疑ヒガ生ズルノデハナイカト、私ハ斯ウ思フノデアリマス、先ヅ一言申シマスレバ、憲法第一條「大日本帝國ハ萬世一系ノ天皇之ヲ統治ス」ト、斯ウ御示シニナツテ居リマス、是ハ固ヨリ憲法ニ依ツテ斯ク定マツタノデハナクシテ、肇國以來今日ニ至ルマデ、是ハ渝ラザルコトデゴザイマス、之ヲ言葉デ表ハシマスレバ、此ノ憲法ニ表ハサレテ居ルノガ正確デアラウト考ヘテ居リマス、即チ 天皇ガ國家ヲ統治セラルル其ノ 天皇ハ萬世一系デアラセラルル、茲ニ歸着スルモノト私ハ考ヘテ居リマス、斯ク表ハスノガ最モ正確ナ表ハシ方デアラウト思ヒマス

○藤田委員 私ノ觀念ニハ疑義ハナイノデアリマスガ、此ノ法律ヲ適用シマス上ニ於テ、其ノ範圍ヲ非常ニ誤解シテ進ム危險ガアルノデハナイカ、言換ヘレバ政體、立憲政治ノ仕方ニ疑義ヲ持ツテ之ヲ制限セントスル、或ハ之ヲ直サウトスル説モ、或ハ解釋ノ仕方ニ依レバ、第一條ニ包含スルヤウナ解釋ヲセラレル場合ガ生ジテ來ルノデハナイカ、斯ウ云フコトヲ感じマシタガ故ニ、何カ言葉デハツキリ定義シテ戴ケレバ、サウ云フ疑義ガハツキリ區別サレシマヒハセヌダラウカ、斯ウ私ハ思ツタノデアリマス

○平沼國務大臣 只今申シマシタ通り、憲

法第一條ニ御定メニナツテ居ル此ノ規定、是ハ日本ノ國體ヲ明カニシタモノデアルト思ヒマス、其ノ他ニ或ハ憲法ノ條章ヲ紛淆スルトカ云フコトハ、是ハ或ハ朝憲案亂ニハナルカモ知レマセウガ、國體變革ニハナルマイト思ヒマス

○田村委員 私ハ司法大臣並ニ内務省ノ政府委員ノ方ニモ關聯致シマスガ、御尋ネ致シテ置キタイノデアリマス、統制經濟ガ漸次確立セラレルニ至リマシテ以來一番我國ノ社會ヲ不安ニ陷レタ事件ハ閣取引事件デアリマス、從來ノ商人ノヤリ方カラ申シマスト、公定價格ヲ設ケテ、閣取引ニ引掛カルト云フヤウナコトハハツキリ政府ガ教ヘマセスト、能ク頭ニ入ラナイ、又國民モソレガ本當ニ惡イト云フコトガ暫ク經タスト頭ノ中ニ入ツテ來ナイノデアリマス、或ハ人ヲ毆ツタトカ、泥棒シタトカ、人ヲ傷ケタト云フヤウナコトノ惡イコトハ自然犯デアツテ分ルノデスガ、公定價格ニ依ル統制經濟ニ關スル違反ト云フヤウナコトハ行政罰ト言ヘバ言ヘルト思フ、行政法令ガ國民ニ徹底シ、業者ニ徹底スルト云フコトデナイト、是ガ巧ク履行出來デイト思フノデアリマス、其ノ間ニ政府ガ統制經濟ヲ行フ上ニ付テノ餘程親切ナ處理ト云フコトガナケレバナラス、又寬嚴宜シキヲ得ルト云フコトガナケレバナラスノデアリマス、而モ時ハ事變下デアル、此ノ事變下ニ於テ閣取引ヲスルガ如キハ——一旦國家ノ制定シタ法令ニ反スルノハ怪シカラヌ奴ダ、統制經濟ノ法律ニ反スルノハ國賊ダト云フヤウナコトヲ檢察當局トシテ主張スルノハ無理カラスコトト思ヒマスガ、併シ一方ニ於テハ是ハ國家ニ於ケル事變下ニ於ケル國內攪亂ノ作

用トナツテ居ルノデアリマス、ソコデ斯ウ云フ風ナ罰則ヲ適用スルニ付テハ所謂寬嚴宜シキヲ得ナケレバナラスト思フ、唯引掛カウツカラ悉ク嚴罰ニ處セナケレバイカスト云フダケデ行ケルカドウカ、寬嚴宜シキヲ得ル方法ニ依ツテ漸次國民ニ行政罰ガ自然罰トシテ頭ニ浮ブヤウニ率キテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、此ノコトハ非常ニ難カシイ問題デアルト思フノデアリマスガ、此ノ問題ニ對シテ司法大臣ノ御考ヘ方ヲ承リタイト思ヒマス

○柳川國務大臣 經濟事犯ニ關シマシテハ、是レマデ數モ多イシ、又今仰シタル通りニ犯シタ人ガ能ク罰則ヲ諒知セズニ、知ラズ識ラズノ間ニ犯シタノモアルト云フヤウナコトモ承ツテ居リマス、是ハ非常ニ多イ爲ニサウ云フコトモアリ得ルカト存ジマス、法ノ爲ニ國民ガ不安ヲ増シタリ、其ノ生活ニ所ヲ得ナイヤウナコトヲ生ズルコトハ、立法ノ目的デモナシ、是非是正ヲ要スルコトト存ジマス、就キマシテハ行政官廳モ無論デゴザイマスガ、司法方面ニ於キマシテモ、能ク立法ノ趣旨目的ヲ明カニシ、其ノ周知普及ノコトニ盡力ヲシ、法ヲ犯シサウナ場合ニハ何トカシテ犯サヌヤウニ、之ヲ助ケル方法ヲ考ヘテ行クヤウニ努メタイト思ヒマス、併シナガラ犯シタノヲ困ルダラウカラト言ウテ許ス譯ニハ行キマセヌノデ、法規ノ振肅ヲ害シナイヤウニ、ソコハ今言ハレル通り寬嚴宜シキヲ得ルヤウニ努メタイト存ジテ居リマス、殊ニ今議會ニハ非常ニ重要ナ法案モ出デ居リマスノデ、是等ノ罰則等ニ付テ國民ガ或ハ周知シナイヤウナコトガアツタリ、或ハ不安ヲ増シタリスルヤウナコトノナイヤウニ、又サウ云フ事犯

用トナツテ居ルノデアリマス、ソコデ斯ウ云フ風ナ罰則ヲ適用スルニ付テハ所謂寬嚴宜シキヲ得ナケレバナラスト思フ、唯引掛カウツカラ悉ク嚴罰ニ處セナケレバイカスト云フダケデ行ケルカドウカ、寬嚴宜シキヲ得ル方法ニ依ツテ漸次國民ニ行政罰ガ自然罰トシテ頭ニ浮ブヤウニ率キテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、此ノコトハ非常ニ難カシイ問題デアルト思フノデアリマスガ、此ノ問題ニ對シテ司法大臣ノ御考ヘ方ヲ承リタイト思ヒマス

ヲ生ジタ場合ニ於ケル取扱ニ關シテハ、萬
遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居リマス

ト思ヒマス、出來ルダケ思想事件ニ付テ常
ニ研究シテ居リ、又實際ニ於テモ屢、取扱ツ

活潑ニ行ハシメルコトガ、斯ウ云フ思想混
亂ノ時代ニハ必要デハナイカト思フテ居ル、

校出ノ學者ガ良イ氣ニナツテ言ウタノヲ、
直グ私有財産否認ト云フヤウニ思ヒ込ム、

○田村委員 今回ノ治安維持法改正ノ大キ
ナ眼目ハ、豫防拘禁制度——此ノ豫防拘禁

ト研究シテ居リ、又實際ニ於テモ屢、取扱ツ
タ經驗ノアルヤウナ判事ヲ以テ、公判部ヲ

所ガ最近承ル所ニ依ルト、「マルクス」ノ學
術批判ハ當然統制經濟トカ、計畫經濟ニ對

昨日モ私ノ所ニ地方ノ青年ガ三名バカリヤ
ツテ來テ、公益優先ダカラ土地ハ奉還スル

制度ハ以前ニモ法案ガ出タコトガアリマス
ガ、ソレハ不幸ニシテ成立シナカッタ、今

組織シテ貰フト云フヤウナコトガ主ナル目
的デアリマス、ソレニ附隨シマシテ、圖書

スル批判ニナツテ來ルト思フノデアリマス
ガ、其ノ批判ニ對シテハ取締リガ嚴重ト云

ノデアル、私有財産ハ否認スルト云フコト
デ地方ノ人ガ驕イデ居ルカラ、ソレニ對シ

同ハ速カニ之ヲ成立セシメテ、今日ノ如キ
思想混亂時代ニ、此ノ法ノ活用ニ依ツテ

暇ニハ是等ノモノニ付テ十分ナル研究ヲ遂
ゲテ、事件ノ起キタ際ニソレヲ活用出來ル

フヨリモ彈壓ノ程度ニナツテ居ルト云フコ
トヲ承ルノデアリマスガ、此ノ取締リノ實

分ハ止メテ東京ヘヤツテ來タノダ、斯ウ云
フ話デ、實ニ驚カサレル、ソコデ思想ニ付

我が國ノ思想的誤リヲナカラシムルヤウニ
シナケレバナラヌト思フノデスガ、其ノ意

ト云フ話デアリマスガ、サウスルト思想公
判部ハ、例ヘバ全國ニドウ云フ風ナ程度ニ

居ル譯デアリマセヌ

ナ言葉デ直グ捉マツテ行過ギラヤル、其ノ
行過ギノ一方ニ流レガアル場合ニ、其ノ流

味デ、承ル所ニ依リマス、司法省ニ於キ
マシテハ今回裁判所ニ思想公判部ト云フモ

御計畫ノヤウデアリマスガ、其ノ思想公判
部ノ内容——唯此ノ事犯ダケ扱フト云フ判

依リマス、ト「マルクス」ノ學術ハ嚴重ニ反
對ノ角度カラ之ヲ批判シテ、共產主義理

識者ニ與ヘテ、其ノ識者ガ又之ニ對スル「ブ
レーキ」トナルコトガ出來レバ、私ハ斯ウ云

事ヲ拵ヘルト云フノデヤナカラウト思フ、
ソレニ對スル準備、設備、内容等ノ概略ヲ

算ハ特ニ貫ツテナイ分ニ付キマシテモ、思
想事件ノ非常ニ多數アリマス大都市ニアリ

出來ナイ、斯ウ云フ建前カラ嚴重ニ批判ヲ
シテ居ル人ガ私ノ友人ニモ居ル、其ノ人ノ

フ惡思想ニ對スル一ツノ防波トシテ必要デ
ナイカト思フノデスガ、「マルクス」思想ニ

大臣カラ承ツテ置キタイト思ヒマス

マシテハ、サウスルト判事ヲ其ノ方ニ振向ケ
テ、之ヲ設置スルト云フヤウナ方法ガ出來

「マルクス」ノ學術批判ノ一端ヲ私ハ聞イタ
コトガアリマスガ、洵ニ適切ナルモノデアツ

カブレル意味ニ於テノ學術批判ハ、餘程氣
ヲ付ケナケレバナラヌケレドモ、サウスル

○柳川國務大臣 政府委員カラ御答ヘ致サ
セマス

居リマス

コトニ徹底シタ頭ヲ持ツテ居ツテ、サウス
ル「マルキシズム」ヲ側面カラ批判シテ、寧

ラ御懇談ヲ願ヒタイシ、私モ承リタイコト
ガアリマスガ、唯サウスルコトガ世間ニ傳

○秋山政府委員 思想公判部ヲ設ケルコト
ニ豫算ノ要求ヲ致シマシテ大藏省ノ承認ヲ

聞スル所ニ依リマス、ト「マルクス」ノ學術
批判ヲナス者ニ對シテ取締リガ非常ニ嚴重

ロ其ノ行過ギヲ是正セントスルヤウナモノ
ニ彈壓ノ取締ヲヤツテ居ルト云フコトヲ

聞クノデアリマスガ、先程御話ニナツタノ
デ大體ノ御考ヘハ分ツタノデスケレドモ、

ト思ヒマスガ、マダサウ細カナ點マデ計畫
ガ出來テ居リマセヌ、マア大體ハ熟達シテ

居ル判事ヲ以テ公判部ヲ組織シ、思想事件
ガ廻ツテ參リマシテモ、其ノ事件ニ付キマ

ホ其ノ點如何デアリマスカ

○村田政府委員 色々御質問デアリマスガ、
私ノ方ト致シマシテモ無批判ニヤツテ居ル

シテ直チニ適正ノ判斷ガ下セルト云フヤウ
ナコトデナケレバ——今日ハ強盜事件、明

更ニ根本ガ日本獨特ノ觀念ニ立脚シテ居レ
バ宜シイノデアツテ、必ズシモ經濟政策ノ

全部ガハツキリ區別出來ナイコトガ多イト
思フノデアリマス、サウスル場合ニ「マル

ク」ノ學術批判ト云フモノヲ識者ヲシテ

日ハ思想事件、更ニ又翌日ハ殺人事件ト云
ツタヤウナ風ニ色々ナ事件ヲ扱ツテ居リマ

ス、自然思想事務ニモ疎クナリマスノデ、
思想事件ノ處理ニ付テ非常ナ支障ガアラウ

ノ否認ト云フヤウナコトニ考ヘテ、若イ學

○田村委員 又何レ秘密會デモアリマシタ
ラ御懇談ヲ願ヒタイシ、私モ承リタイコト

ガアリマスガ、唯サウスルコトガ世間ニ傳

布

布

第六類第十九號

治安維持法改正法律案委員會會議錄

第二回

昭和十六年二月十二日

一

一

一

一

ハリマス、共產主義ガイカスト云フコトカラ、計畫經濟、統制經濟ヲ批判スルト、之ヲビシヤット彈壓シテ、何カサウ云フ共產主義的ノ理論ヲ裏付ケルヤウニ取ルモノガアル、之ヲ私ハ惧レル、サウ云フコトノナイヤウニ注意シテ戴キマセスト、共產主義ガ惡イ、隨テソレカラ相當學術的ニ入ツテ來レバ、計畫經濟、統制經濟ニ對スル批判モヤツテ來ル、ソレヲ直グイカスト云フコトニナリマス、ソレヲ裏書キシテ、「マルクス」主義ノ一部ヲ政府ガ容認スルノデハナイカト思ハレマスカラ、其ノ意味カラ私ハ御質問申上ゲタノデ、機會ガアリマシタラ十分承リタイト思ヒマス

○服部委員長 田村君ニ一寸御諮リ致シマスガ、司法大臣ハ他ノ委員會ノ御都合モオアリニナルヤウデアリマスカラ、此ノ機會ヲ逸シマスト質問スルコトガ出來ナクナリマスノデ、先ヅ司法大臣ニ對スル質問ヲ終ツテカラ、ソレカラ田村君ノ質問ヲ繼續願ヒマス

○田村委員 私人司法大臣ニ對スル質問モ相當色々持ツテ居リマスガ、大體ハ政府委員ノ方デ結構ダト思ヒマスカラ、司法大臣ニ對スル質問ハ宜シウゴザイマス、他ニアリマスレバ其ノ方ニ御許シ願ヒマス

○服部委員長 此ノ際司法大臣ニ對スル質問ノアル方ガアリマシタラドウゾ……

○中村(高)委員 今マデ吾々ハ治安維持法ト云フハ共產主義ヲ取締ル法律デアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ツタノデアリマスルガ、今度ハ此ノ治安維持法ヲ共產主義バカリデナクシテ、國體ヲ否定シ、又ハ神宮若シクハ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スベキ事項ヲ流布スルト云フヤウナ、從來ノ共產主義取締

バカリデナイ方面ニ、此ノ法律ヲ擴大セラレノガ、此ノ改正案ノ一ツノ目的ノヤウデアリマスガ、神宮若シクハ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルト云フヤウナコトハ、是ハ何レモ現行刑法ノ不敬罪ニ依ツテ所罰サレテ居ルノデアリマスルガ、唯刑ヲ重クスルト云フコトダケガ目的デアリマスルナラバ、刑法ノ刑ヲ重クスルト云フコトデ目的ガ達セラレルヤウニモ思ハレルノデアリマスガ、刑法ニ同ジ所罰ノ規定ガアルノニ、治安維持法ハ今マデ共產主義ヲ取締ル法律デアツタモノヲ、サウ云フ風ナ刑法ニ規定ガアツテ、刑法デ罰スルコトニ依ツテ目的ヲ達シ得ルモノヲナゼ一體此ノ法律ノ中ニ當嵌メナケレバナラナカッタノカ、其ノ點ヲ一ツ承リタイ

○柳川國務大臣 共產主義者ノ思想傾向ニ結社ノ活動ヲナス傾向ガアルデ、サウ云フ活動ヲ防止スル爲メ立法ゴザイマスガ、詳細ハ刑事局長ヲシテ答辯セシメマス

○秋山政府委員 第七條ノ國體否定、又ハ神宮、皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルト云フ此ノ規定ハ、是ハ國體ヲ擁護シヨウト云フ考ヘ方カラ設ケラレタ規定デアリマシテ、尙ホ是ハ所謂結社活動ト申シマスガ、結社トシテ活動スル場合ヲ處罰シヨウト云フ所カラ考ベラレテ居ルノデアリマス、デアリマスガラ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スベキ事項ヲ流布スルコトヲ以テ結社ヲ組織シタルモノト云フコトニナツテ、ソコニ重點ガ置イテアリマス

○中村(高)委員 モット御聽キシタイノデアリマスガ司法大臣デナクテ宜シウゴザイマス

○三田村委員 私人司法大臣ニ治安維持ノ根本問題ニ關シテ御所信ヲ御伺ヒ致シタイト

思ヒマス、實ハ非常ニ重要ナ問題デアリマシテ、總理大臣ニモ御伺ヒ致シタイト思ツテ居リマシタガ、御出席ガナイヤウデアリマスカラ、國務大臣トシテ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス、元來此ノ戰時下ニ於テ治安維持法改正案ヲ提案ヲ見タコトハ、必要デハアリマスガ、吾々日本國民トシテ甚ダ遺憾ダト思ヒマス、殊ニ國體變革ノ思想ヲ持ツタ者ニ強イ罰ヲ以テ臨ムナクテハナラス、其ノ檢舉ト取締ノ範圍ヲ大イニ擴大シナケレバナラヌト云フコトハ、日本人ノ良心ニ慙ヘテ洵ニ殘念ダト思フノデアリマス、而シテ此ノ問題ノ根本ヲ成スモノハ、即チ思想國策ノ根本ヲ成スモノデアリ、更ニ又戰時施策ノ根本ヲ成スモノデアリマス、支那ノ言葉ニ「治國平天下」ト云フ言葉ガアリマスガ、治國ハ平時ノ政治行政、平天下ハ戰時非常ノ際ノ施策デナケレバナラス、即チ法律ヲ以テシテモ、強イ政治力ヲ以テシテモ、如何ニ周密ナ行政ノ手段ヲ以テシテモナシ得ナイノハ、人心ノ把握デアリマス、私ハ時戰行政ノ根柢ヲ成スモノハ人心ノ把握デナクテハナラヌト思フ、先程田村君ノ質問ノ中ニ經濟違反ノ問題ガ出テ參リマシタガ、是モ亦支那ノ言葉ニ「嚴法酷罰以テ臨メバ民遂ニ免レテ恥ナキニ至ル」ト云フ言葉ガアルト同様デ如何ニ法ヲ嚴ニシ、罰ヲ周密ニシテモ達シ得ナイ問題ガアル、之ヲ私ハ一番重視シナケレバナラヌト思フノデアリマス、此ノ治安維持法ノ審議ニ致シマシテモ、之ニ依ツテ此ノ對象ニナルベキ思想事犯、其ノ思想運動ニ致シマシテモ、ヤハリ何處カニ由テ來ル根源ガアルノデアリマス、此ノ時戰下ニ於テ吾々ガ最モ排撃シナケレバナラスノハ、ソレハ所謂反戰的

思想ノ擡頭デス、而シテ其ノ反戰的思想ヲ擡頭ガ何處カラ來ルカト云ヘバ、ソレハ意識スルト否トニ拘ラズ、何處カニ社會的條件ガアルノデアリマス、其ノ社會的條件ヲ根柢カラ拂拭スルコトガ、思想對策ノ根本デナケレバナラス、即チ全國國民ヲシテ國家ヲ信賴セシメ、政府ト云フモノニ絶對的信賴ヲ持チ得タナラバ、反戰モ反軍モ、又共產主義モナイノデアリマス、此ノ點ガ私ハ一番重要ダト思フ、軍當局モ眞劍ニ御心配ニナツテ居ラレト思ヒマスガ、今日戰爭ガ長期化スレバ長期化スル程、サウシタ好マシクナイ情勢ハ一般ノ社會ニ培養サレツツアル、其ノ根本ノ問題ニ觸レナイデ、唯法制ノ上ノ形ダケ整ヘテモ問題ハ解決シナイ根本ノ問題ハ如何ニシテ眞ノ一億一心、一億一體ノ姿ト事實ヲ顯現スルカト云フコトデナクテハイカスト思フノデアリマス、此ノ治安維持ノ問題モ、只今中村君ノ質疑ニモアリマシタ如ク、成程法制的ニ其ノ沿革ヲ眺メテ見ルト、共產主義取締ノ爲ニ出來タ法律デアリマス、併シ今日此ノ治安維持法ヲ吾ガ取上ゲテ見ル時ニ、ソレハ國體擁護ノ法律デナケレバナラス、其ノ狙ツテ居ル法域ハ國體デアアル、國體ノ尊嚴性ヲ保ツテ行クト云フコトガ、治安維持法ノ狙ツテ居ル狙ヒ所ダト思ヒマス、サウスルト其ノ狙ヒ所ト云フモノハヤハリ是レ國家ノ生命デアリ、國家ノ生命力ノ維持、培養、強化、發展デナクテハナラス、其ノ國家ノ生命力ノ維持、培養、強化、發展ハ何ニ依ツテナサレカト云ヘバ、ソレハ消極的ナ立法手段、取締彈壓ダケデハイケナイ、能動的ニ、積極的ニ全國國民ヲシテ國家ニ協力セシメルト云フ態勢ヲ執ラナケレバ、此ノ戰時下ノ非

當時體制ト云フモノハ出來ナイ、ソレデア
リマスカラ私ハ先ヅ、根本問題トシテ此ノ
治安維持ニ臨ム政府ノ心構ヘカラ伺ヒタ
イ、一體斯ウ云フ立法的手段トカ、或ハ行
政の取締手段ニ依ツテ、戦時上ニ最重要
ナル思想國防ノ體制ガ整ヘ得ラレカ、私
ハサウデハナイト思フ、其ノ最モ根本ヲ成
スモノハ人心ノ把握ニアル、勿論法律ノ改
正デ最モ好マシクナイ思想問題ト云フモノ
ハ斷乎拂拭シナケレバナリマセスガ、ソレ
ノミヲ以テ萬事終レリト考ヘタラ、私ハ大
變ダト思フ、其ノ點ニ關スル司法大臣ノ御
所見ヲ伺ツテ、アトモウ一點御尋ネ致シマ
ス

○柳川國務大臣 本法案トカ前ニ御審議ヲ
願ヒマシタ國防保安法案トカ云フヤウナ、
我が國民ノ矜持トシテ洵ニ遺憾ノヤウナ事
ヲ立法ニ依ツテ制裁シナケレバナラヌト云
フ事柄ハ、今三田村サンノ仰シヤル通りニ
洵ニ根本カラスレバ遺憾ノ次第デアリマス
ガ、三田村サンノ仰シヤル通りニ人心ガ安
定ヲシ、各所ヲ得テ政府國民ガ一體トナツ
テ御奉公ヲスルヤウニナレバ、難カシイ制
裁ハ要セナイ譯デアリマス、是ガ根本デア
ルト云フコトハ洵ニ御同感デアリマス、而
シテ此ノ治安維持法案ハ、曩ニ内務大臣カ
ラ御説明ニナラレマシタ通りニ、國體ノ尊
嚴ヲ擁護スルノガ本デアリマシテ、是ハ皆
分ツテ居ラナケレバナラヌノガ、今日斯ク
ノ如キ事ヲ制定セナケレバナラヌヤウナ事
態ニアルコトガ、本改正法律案ヲ提出致シ
タ譯デゴザイマシテ、本法最初ノ制定當時
ハ、如何ニモ思想ガ今日以上ニ動搖致シテ
居リマシタノデ、當時學者ノ間ニハ本法ヲ
以テ世界無比ノ惡法ナドト云フ批判ヲサレ

タ時代サヘアウツノデアリマス、漸ク本法
ニ依ツテ、多少國民ニ其ノ事態ヲ了知セシ
メテ、實ハ國民モサウ云フモノガアラウト
ハ思ツテ居ナイノニ、斯ウ云フ法ガ制定サ
レタノデ、非常ニ用心モシ、警戒モシ、自
肅モシ、自戒モシテ、段々或ル目的ハ達シ
テ來タノデアリマスガ、今日時局ハ益々緊迫
ヲ致シマシテ、前ニ審議ヲ御願ヒシマシタ
所ノ國防保安法、或ハ本治安維持法ノ改正
案等、緊急ニ制定ヲシテ、取締制裁ノ方ヲ
強化致シマシテ、一方恒久的ノ行政竝ニ教
化ノ手段ニ依リマシテ、今三田村サンノ仰
シヤルヤウナ根本カラ人心ヲ建直スヤウニ
シナケレバナラヌト存ズルノデアリマス、
固ヨリ國民ノ大多數ガ此ノ法ノ對象ニナル
トハ毫モ思ヒマセスガ、關係スル所ノ結
果ガ非常ニ重大デアリマシテ、緊急已ムヲ
得ザル立法ト御諒承ヲ願ヒタイ

○三田村委員 司法大臣ノ御答辯デ能ク了
承致シマシタ、モウ一點此ノ機會ニ御伺ヒ
シテ置キタイノハ、法律ト云フモノガ一體
ドウ云フ役割ヲスルカト云フコトヲ立法ノ
際ニ吾々ハ能ク考ヘテ置カナケレバイケナ
イ、是ハ法律ノ專門家デアラセラレナイ司
法大臣ニ御伺ヒスルノデナクテ、國務大臣
トシテノ柳川中將ニ御伺ヒスルノデアリマ
ス、私ハ會テ此ノ治安維持法ニ依ツテ思想
運動ノ取締ノ任ニ當ツタコトモアルノデスガ、
摘ンデモ、摘ンデモ摘ミ切レナイモノガ出
テ來ルコトハ、非常ニ何トモ言ヘナイ苦シ
イ氣持ニナルモノデアアル、根本ノ問題ハ、ソ
レヲドウスルカト云フ所ニ常ニ行クノデス、
是ハ今私ガ先刻ノ問題デ御尋ネシタ根本ノ
問題デアリマスガ、私ハ此ノ問題ヲ、先刻
田村君ガ御尋ネニナツテ居リマシタ今日ノ

經濟法令ニ付テモ考ヘテ見タイ、先般國防
保安法ノ審議ニ當ツテ、軍當局ノ御苦心モ
十分伺ツタ、今日一番警戒シナケレバナラ
ヌコトハ、第三國ノ所謂思想謀略デス、此
ノ思想謀略ト云フモノハ、少シデモ隙ガア
レバ入ツテ來ル、其ノ隙トハ何カト云フト、
法ノ尊嚴性ニ對スル國民ノ信頼ヲ失ツタ際
乃至ハ法ノ存在其ノモノニ對スル疑惑ヲ持
ツタ際、ソレハ要スルニ一ツノ思想ノ動搖
デアリマスルガ、此ノ問題ガ私ハ一番重大
ダト思ツテ居リマス、先般モ或ル懇意ナ警
察部長ニ會ツテ斯ウ云フコトヲ話シタコト
ガアリマス、今日經濟警察ト云ヒ、乃至ハ
經濟事犯ト云ヒ、サウ云フ言葉ヲ以テ言ハ
レテ居ルガ、靜カニ考ヘテ見ルト、是ハ悉ク
思想問題デアリ、社會問題デアリマシテ、其
ノ趨ク所ハ最モ吾々ノ憂ヘナケレバナラヌ
所デアアル、國家ガ益、非常重大ノ時ニ直面ス
レバスル程、此ノ法ニ對スル信頼ト云フモ
ノガ必要ニナツテ來ル、法律トハ何カト云
フ問題ニナツテ來ル、法律トハ何カ、法律
ノ專門家ガ其處ニオイデニナリマスガ、是
ハ社會ノ中心力ガ國家權力ニ依ツテ規範化
サレタモノデアアル、ヤハリ社會の妥當性ト
云フモノガナケレバ法ニナラナイ、一億ノ
國民ノ中ノ大多數ト言ハナクとも、其ノ多
クガ無意識ノ内ニ、又意識スル内ニ法ニ掛
ルト云フノハ何處カニ隙ガアル、是ハ或ル
意味ニ於テハ、法理念ニ依ル法デナクナツテ
居ルト云ツテ宜イ、此ノ治安維持法ナドハ、
勿論全國民ガ此ノ法ノ必要ヲ認識シ、ソレ
ニ國家ガ法トシテノ存在ヲ確認スルカラ、
何人モ之ヲ法トシテ信頼シ、其ノ尊嚴性ニ
疑ヒヲ持チマセスガ、今日ヤカマシイ經濟
法令ナドト云フモノニ對シテハ、其ノ點非

常ニ私ハ考慮シナケレバナラヌ所ガアルノ
デハナイカ、社會の妥當性——社會の妥當
性ト云フヤウナ言葉ヲ使フト、民主主義ト
カ、自由主義トカ言ハレマスガ、サウデハ
ナイ、私ノ申上ゲル意味ハ、法律ノ性格ニ
於ケル社會の妥當性、詰リ法ト云フモノハ
ドウ云フ役割ヲ持ツテ生レテ來ルカト云ヘ
バ、是ハ國民ヲシテ遵守セシムルト云フ使
命ト任務ヲ持ツテ居ル、ソレナラソレダケ
客觀的ニ社會の妥當性、詰リ社會ノ中心力タ
ル性格ヲ持タナケレバイケス、サウ云フ點
カラ考ヘルト、私ハ今日非常ニ多クノ法令ニ
對シテ再批判ヲ必要トスル、ナゼ私ハ此ノ
治安維持法ノ審議ニ當ツテサウ云フコトヲ
申上ゲルカト云フト、繰返シテ申シマス如
ク、摘ンデモ摘ンデモ摘ミ切レナイモノガ
何處カニアルノデ洵ニ困ル、サウ云フコト
ハ、吾々ハ日本國民ヲ信頼スルガ故ニ、國
家有事ノ際ニソレ等ノ問題ガ最モ大キナ害
トシテ現ハレテ來ルコトヲ信ジマセヌケレ
ドモ、立法目的其ノモノガ國體擁護ニアリ
トスレバ、其ノ國體擁護ニ反スルヤウナ社
會情勢ガ何處カニアルノナラバ、ソレガ生
レツツアルヤウナ條件ガアルノナラバ、ソ
レヲ摘ミ取ラナケレバナラヌ、ソコデ私ハ
法ノ尊嚴性ト云フモノハ、法ノ社會の妥當
性、法律ト云フモノハ何ヲ任務トシテ居ルノ
カ、ドウ云フコトヲ目標トシテ居ルノカト
云フコトヲ嚴密ニ考ヘタイ、ソレハ好マシ
クナイ社會情勢ヲ作ラナイ爲メナノデス、
司法大臣ハ法律ノ專門家デアラセラレナイ
ダケ、ソレダケ其ノ點ニ對スル御氣持ハ私
ハ妥當性ガアルノデハナイカト思ヒマスガ
ラ、一ツ大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマ

○柳川國務大臣 法ノ役割ヲ専門の見地デ
ナク、一般常識の見地カラ答ヘヨト云フコ
トデゴザイマスカラ、私ノ考ヘヲ申上ダマ
ス、前カラ申上ダル通り、國民各、其ノ處ヲ
得、各、ガ國家ノ徳治ニ悦服シテ居ル時ニハ其
ノ制裁ト云フモノハ極メテ輕クテ済ムダラ
ウト思ヒマス、結局法ハ徳ト合致シタ時ガ
一番宜イノデアラウト思ヒマス、前ニ述ベ
ラレタ社會的妥當性ト云フノハ、サウ云フ
コトデアラウト思ヒマス、デアリマスカラ、
法律ガ社會的妥當性ヲ持ツ立法デアリ、其ノ
ヤウナ運籌ヲナシ、又斯ノ如キ法ノ實行中
ニ世ノ中ノ情勢ガ法ヲ簡易ニシテモ治安秩
序ガ案レナイヤウニ進メテ行クコトガ必要
デアラウト思ヒマス、ソレガ國家ノ教育デ
モアリ行政デモアラウト存ズルノデアリマ
ス、一面ニ於テ法ノ尊嚴ト云フコトモ前
ニ述ベラレマシタガ、法ノ尊嚴ト云フコト
ハ、法律ノ運籌ガ過チナクシテ、而モ非常
ニ嚴正デアアル爲ニ國家ノ綱紀ガ振ヒマシテ、
其ノ事デナイ他ノ事マデモ國民ガ過チヲ
犯スマイ、人ニ迷惑ヲ掛ケマイト云フ考ヘ
ヲ段々増進シテ行キマス、犯行モ段々減
ツテ來ルダラウト思ヒマス、即チ綱紀ガ振
肅スルヤウニ、既ニ立法セラレタル法ノ
運籌ニ心掛ケナケレバナラヌト思ヒマス、
一方ニ於テ法ノ尊嚴ヲ一層振肅セシメ、
一方ニ於テ其ノ運籌ニ寬嚴宜シキヲ得テ、
國民ハ法ニ信倚シ、日々其ノ不安ヲ除イテ
明ルイ生活ニ導イテ行クヤウニスルノガ法
ノ目的デアルト存ズルノデアリマス、私共
ト致シマシテハ今日色々立法ヲ致シマシ
テ、國民ニ不安ヲ與ヘ或ハ心配ヲ與ヘルト
云フヤウナコトガアツテハ濟ミマセヌカラ
成ベク之ヲ普及セシメマシテ、其ノ運用ヲ

適正ニ致シマシテ、一方ニ於テ違法ノ精神
ヲ振起シ、一方ニ於テ行政教育ノ諸官省ト
連絡ヲ取り、違反者ノ少クナルヤウニ、又
前ニ述ベラレマシタ社會的妥當性ニ合致ス
ルヤウニ進メルベク努力シタイト思ヒマス
○三田村委員 モウ一點伺ヒマス、是ハ獨
リ治安維持法ノミデハアリマセヌガ、法ノ
執行ニ當ル人ノ心構ヘニ付テ司法大臣ノ御
所見ヲ伺ヒマス、私ハ元來日本ニ於テハ取
締ル者ト取締ラレル者ガアルコトソレ自體
ガヨカシイト思フ、君民一體ト申シマス、
義ハ君臣ニシテ情ハ父子ト申シマス、一億同
胞一切悉ク是レ 陛下ノ赤子デアリマス、
其ノ 陛下ノ赤子ヲ 陛下ノ御名ニ於テ、其
ノ行政ヲ擔當スル人、法律ノ執行ニ當ル人
ト云フ風ニ、ハツキリ區別サレタ統治者ト
被治者ノ形ニ於テ見ルコトソレ自體ガ間違
ダハナイカト私ハ思フ、日本ノ國體ニ於テ
ハ間違ダハナイカト思フ、私ハ餘リ長イ社
會史ヤ政治史ハヤリマセヌガ、元來今日日
本ガ持ツテ居ル行政機構ト云フモノモ日本
獨創ノモノデハナイノデアツテ、外國カラ
持ツテ來タモノガ多イガ、ソコニ別ナ國體
ノ必要ニ依ツテ採用シ、創案サレタ行政機
構トカ取締機構ト云フモノハアルノデス、日
本デハ少クトモ 陛下ノ御名ニ於テ
陛下ノ赤子ヲ取締ルト云フ考ヘハ間違ヒダ
ト思フ是ハ取締ルノデナクテ 陛下ノ大御
心ヲ體シテ其ノ 赤子タル任務ヲ遂行スル
ノダト云フコトニナラナクテハイケナイ
ト思ヒマス、是ハ行政官ノ方面デスガ、
知事ハ少クトモ其ノ府縣内ノ住民、是
ハ言フマデモナク 陛下ノ赤子デアリマ
スガ、其ノ 陛下ノ赤子ヲ 陛下ノ大御
心ヲ體シテ御預リシテ居ルノダト云フ

氣持デナクテハナラス、警察官モ同様、
其ノ管内ノ住民ハ正ニ是レ 陛下ノ赤子、
其ノ 陛下ノ赤子ヲ 陛下ノ大御心ヲ體シテ
御預リシテ居ルノダト云フ氣持デナクテハ
ケナイ、ソコニ今司法大臣ガ仰シヤツタ徳ノ
流行ト云フモノガアル、徳政ト云フモノガ
出テ來ル、日本ノ一天萬乘ノ 大君ガ萬民ニ
御臨ミニナツテ居ル御氣持ハ、是ハ正ニ徳
政デアツテ、嚴罰ヲ以テ臨ミ、嚴重ナ法律
ヲ以テ之ヲ彈壓スルト云フコトデハナイト
思フ、斯ウ云フ治安維持法ノ如キ問題ニ付
テハ、勿論國家ノ尊嚴ヲ保ツ上ニ於テ嚴罰
ヲ以テ臨ミ嚴重ナル取締ヲ加ヘナケレバ
リマセヌガ、先刻來繰返シ申シマスル如
ク、其ノ徳政ノ德政タル所以ハ其ノ任ニ當
ル者ノ心構ヘ一ツダト思フ、私ハ少クトモ
内務當局ニシロ司法當局ニシロ、今日支配
的立場ニ立ツテ居ル人々ノ心構ヘトシテハ
常ニ其ノ氣持ニ於テヤツテ貫ヒタイ、自分
ハ 陛下ノ御民ヲ御預リシテ居ルノダト云フ
氣持デス、言葉ガ少々鋭クナルカモ知レマ
セヌガ、私ハ今日痛切ニ考ヘテ居ル、役人
ダケガ國家ヲ思ツテ居ルデハアリマセヌ、
ドンナニ困ツタ家庭デモ、苦シイ中カラ子
供ヲ育テ學校ヘヤツテ、二十ニ達スレバ優
秀ナル國家ノ干城トシテ 陛下ノ軍隊トシテ
兵營ニ送り戰地ニ送ルノデアリマス、私
ハ其ノ立場、其ノ職域ニ於テ違ヒコソスレ
一億ノ同胞悉ク是レ 陛下ノ赤子ト云フ氣持
デ臨マナイト、今日ノ問題ハ間違フト思フ
金持ノ道樂息子デモ、召集令狀ヲ受取レバ
不動ノ姿勢ヲ執ツテ戰地ニ行キマス、戰地
ニ行ケバ 天皇陛下萬歲ヲ叫ンデ御國ノ爲
ニ殫レル、其ノ氣持ガ一番尊イノデ、ドウ
カサウ云フ氣持デ臨ンデ戴キタイト思ヒマ

ス、私ハ内務大臣ニモ是非トモサウ云フ御
氣持デ内務省全官吏ニ臨ンデ戴キタイト云
フコトヲ御願ヒスル積リデアリマスガ、司
法大臣モ今私ガ申上ダタコトニ勿論御異論
ハナイト思ヒマス、今日往々ニシテ見ルコ
トハ、何ダカ一段ト違ツタヤウナ氣持ト態
度ヲ以テ國民ニ臨ムト云フ感ジデス、ソコ
ニ官僚獨善ト云フコトガ出テ來ル、決シテ
獨善デハナイデセウケレドモ、自分達ガ取
締ルノダト云フ氣持ガ間違ヒナイノデ、取
締ルノデハナイ、陛下ノ御民ヲ御預リシテ
居ルノダカラ、過チナカラシムルコトヲ期
セナケレバナラヌト云フコトニナレバ自然、
法ノ森嚴モ保タレテ行ク、徳ノ流行スルコ
ト風ヨリモ速シ、徳ガ隅々マデ行渡レバ不
忠ノ臣ハナクナル、職域コソ違ヘ等シク
陛下ノ赤子トシテ一心同體、日本ノ國體ノ特
質ガ出テ來ルト思フノデアリマス、殊ニ斯
ウ云フ戰時下ニ於テ戰爭ガ長ク續キマス、
其ノ點ガ重要デアリマス、國民ヲ取締ルノ
デハナイ、過チノナイヤウニソレヲ指導シ
テ行クノダ、其ノ氣持ノ根柢トシテハ 陛下
ノ御民ヲ御預リシテ居ルノダト云フ氣持デ
臨ンデ貫ヒタイ、私ノ今申上ダタ此ノ氣持
ニ對スル司法大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイ
○柳川國務大臣 只今國民舉ツテノ御奉公、
又官吏ノ職ニ臨ム所ノ心構ヘニ於キマシテ、
民ヲ御寶ト仰セラルル大御心ニ悖ラナイヤ
ウニ、背カナイヤウニサウ云フ心構ヘヲ以
テ臨マナケレバナラヌト云フ三田村サシノ
御意見ハ全く御同感デゴザイマス、官吏デ
モ他ノ官吏デナイ者デモ、今日日々ノ生活
ヲ周リノ影響カ、或ハ遺傳的ニ受ケタ影響
カ、得デシテ過チハアルモノデアリマスガ、
斯クノ如キ過チナイヤウニ純ナ身ニナツ

テ、眞ニ大御寶タル實ヲ舉ゲルヤウニ官ト
言ハズ民ト言ハズ、悉ク御奉公ニ精進シナ
ケレバナラスト云フ御考ヘハ全ク御同感デ
アリマス、裁判ノ形式ニ於テ、御名ヲ以テ
スル所ノ裁判ヲ何トカ仰シヤイマシタケレ
ドモ、ソレハモウ法律ノ定メル所デアリマ
シテ、動カスコトガ出来ナイ次第デアリマ
ス、ソレカラ取締ナント云フヤウナ、自分
ノ仲間、同類ノ者ヲ取締ルト云フヤウナコ
トハ言葉ガ穩當デナイト云フヤウナ御意見
ノヤウデアリマスガ、ソレハ皆々持ツテ
居ル所ノ職務ノ上カラサウナルノデアリマ
シテ、取締ル職分ノ者ハ取締ル、取締ラレ
ル職分ノ者ハ取締ラレト云フ所デ協力一
致シテ御奉公スルト云フコトニ御考ヘ願
ヒタイ、ソレカラ我が國ノ法ハ輸入法デア
ツテ日本本來ノモノデナイト仰シヤイマシ
タガ、ソレハ成程模倣シタモノガアルカモ
知レマセヌガ、元來法ノ出發點ガ皇祖皇宗
ノ御掟ヲ御紹述セラレタ所ノ根本ノ憲法
ニ基イテ制定セラレテ居ル所ノ法デアリマ
スカラ、大體ハ我が國ノ國情ニ適シテ居ラ
ナケレバナラヌ譯デアルト考ヘマス、只今
御制定ニナツテ居ル法ハ、外國ノ法デハナ
ク、我が國ノ法デゴザイマスカラ、ソレニ
依ツテ遵法ノ精神ニ弛ミノ來ヌヤウニドウ
カ御願ヒ致シマス

○三田村委員 私ハ質問ハ終リマシタケレ
ドモ、今私ガ申上ゲタコトト大臣ガ御聽キニ
ナツタ所ト、多少喰違ヒガアルヤウデアリマ
スカラ、誤解ノナイヤウニ一言申上ゲテ置キ
マス、私ハ取締ル者ト取締ラレル者ガアルノ
ハ當リ前ダト思フ、常リ前デアリマスガ、其ノ
取締官ガ民ニ臨ム態度、心構ヘト云フモノハ
取締ルノダト云フ氣持デハナク 陛下ノ御民

ヲ御預リシテ居ルノダト云フ氣持デ臨ンデ貰
ヒタイト云フコトガ先ヅ一點デアリマス、ソ
レカラ 陛下ノ御名ニ於テ云々ト云フコトハ、
私ハ申上ゲテ居リマセヌ、裁判所ノ問題、是ハ
常リ前デアリマス、當然ヤラナケレバナラヌ、
其ノ爲ニ法律ガアリ、刑事手續ガアリ、罰
則モアリ、裁判所ト云フモノガアルノデア
リマスカラ、是ハ當然デアリマス、社會惡
ト云フモノハ同時ニ國家惡デアリマス、國
家惡ハ同時ニ社會惡デアリマス、ソレハ一
ツノ道德律デアルト同時ニ、政治律トシテ
出テ來ルノデアリマスカラ、之ヲ放任スル
譯ニハ行キマセヌ、之ヲ除去スル爲ニ法ガ
アリ、裁判所ガアルノハ當然デアリマス、
是ハ必要デアルガ、心構ヘノ問題デアリマ
ス、ソレカラ今ノ行政機構ノ問題、現在日
本ノ持ツテ居ルモノハ全部外國カラ持ツテ
來テ居ルモノデアルトハ申上ゲナイノデア
リマス、唯法制的沿革ヲ申シマスレバ、是
ハ長イ話ニナリマススケレドモ、吾々モ多少
其ノ點觀イテ見タコトモアルシ、研究シテ
見タコトモアルノデスガ、ヤハリ「フラン
ス」民法ガアリ「ドイツ」刑法ガアリ、方々ノ
モノガ入ツテ來テ、行政ノ仕組ミト云フモ
ノガアル、立法ノ沿革ヲ見テモサウデア
ル、ソレヲ私ハ申上ゲテ居ルノデ、是モ歸
スル所心構ヘノ問題デス、私ハ今大臣ノ仰
シヤツタヤウニ、日本ノ法律ガ日本ノ法律
デナイトハ思ツテ居リマセヌ、是ハ日本ノ
法律デアリ 陛下ノ御裁下ヲ仰イダ法律デア
リマス、能ク存ジテ居リマスガ、唯一ツノ
歴史性——役所ニハヤハリ役所ノ歴史ガア
リ、制度ニハ制度ノ歴史性ガアル、歴史性
ト云フモノハ一ツノ性格ヲ持ツ、其ノ性格
ノ中ニ治者ト被治者トガ嚴然ト在ルト云フコ

トハ日本ノ國體トシテ好マシクナイト云フ
コトヲ私ハ申上ゲタ、決シテ日本ノ制度ト云
フモノハ日本のナモノデナイト云フコトヲ申
上ゲテ居ルノデハナイ、何ダカ今ノ大臣ノ
御答辯ヲ伺ツテ居ルト、ソナヤウニ御聞キ
ニナツタヤウナ氣ガスルモノデスカラ訂正シ
テ置クノデス、私ハ決シテサウ云フ意味デ申上
ゲタノデハナイ、一億ノ同胞是レ悉ク 陛下
ノ赤子デアアル、役人モ役人デナイト者モ、魚屋
サンモ、八百屋サンモ、オ百姓モ、官吏モ、内
閣總理大臣カラ下ハ一農民ニ至ルマデ、工場
デ「ハンマー」ヲ持ツ勞働者ニ至ルマデ悉ク
陛下ノ赤子デアアル、其ノ職域コソ違ヘ、悉
ク御國ノ爲ニ御奉公スルノダト云フ氣持ガ
欲シイノデス、其ノ氣持ニスル爲ニハ何ダ
カ一ツノ境ガアルヤウナ氣持ヲ持ツテハイ
カス、是ハ大臣ハサウ云フモノハ御氣付キ
ニナラヌカモ知レマセヌガ、街頭ニ出テ行
クト隨分アル風呂屋デ聞ク囁キヲ聽イテモ、
電車内デ吊革ニ捉マツテ居ル人ノ囁キヲ聽
イテモサウ云フモノガアル、サウ云フモノガ
アツテハ此ノ治安維持ノ根本問題ハ解決シナ
イ、嚴罰ヲ以テ臨ムコトハ固ヨリ必要デア
リマスガ、尙ホ必要ナコトハ大臣ガ先刻モ
仰シヤツタ德ヲ以テ人心ヲ收攬スル、治國
平天下——平天下ハ法律ヤ命令ダケデハイ
ケナイ、國民ノ人心ヲ把握スルコトガ平天
下デアアル、ソレガ即チ戰時非常ノ際ノ要諦
デナクテハナラヌ、殊ニ日本ハ一億一心デ
アリ、皇室ヲ中心トシタ一大家族ト申シマ
スカラ、其ノ國力ノ一元的動員態勢ト云フ
モノハ、是ハ言フマデモナク 上御一人ヲ
中心ニシタ思想的團結、信念ノ結合デナケ
レバナラスト云フコトヲ申上ゲテ居ルノ
デ、其ノ點私ハ決シテ現在ノ日本ノ制度ナ

ドヲ鬼ヤ角批評シテ居ルノデハアリマセヌ
○泉委員 議事進行ニ付テ——今三田村君
ノ言ハレテ居ル間ニ、私ノ聞キ違ヒカモ知レ
マセヌ、速記録ヲ調べテ見ナケレバ分リマセ
ヌガ、慥カヤハリ 天皇ノ名ニ於テト云フ
言葉ヲ使ツテ居ツタヤウニ思フノデアリマ
ス、ソレニ對スル司法大臣ノ答辯モアツタ
ト思フノデアリマスルガ、私カラ考ヘルト
質問ノ時間ニ討論ガ始マツテ居ルヤウデア
リマシテ、質問ヲ續行スル上ニ於テ、他ニモ
質問者モアリマスシ、一々其處デ討論ヲ始
メラレテ、サウシテ一言ト稱シテ百言モ盡
サレルト他ノ人達方ニ支障ヲ來スノデアリ
マスカラ、討論ニ涉ラナイヤウニ委員長ニ
於テ然ルベク議事ヲ進行セラレンコトヲ望
ミマス

○服部委員長 此ノ際委員長カラ御願ヲ致
シマス、只今泉君ヨリ提議サレマシタル趣
旨ニ基イテ、成ベク質問ハ質問トシテノ本
質ニ立返ツテ是レアルベキコトヲ御願ヒ致
シマス

○三田村委員 議事進行ニ付テ——私ハ討
論ノ爲ニ討論シテ居ルノデハアリマセヌ、
最重要ナ治安ノ根本問題ニ付テ申上ゲテ
居ルノデ、議論ノ爲ニ議論シテ居ルノデモ
ナケレバ、討論ノ爲ニ討論シテ居ルノデモ
ナイ、重要ナル點ヲ外シテ行クト此ノ問題
ノ根柢ニ觸ラレナイカラ申上ゲテ居ルノ
デアアル、決シテ私ハ議論ノ爲ニ議論シテ居
ルノデハナイ、ソレハ泉君ノ御發言ノ通り初
メカラ私ハ能ク承知シテ居リマス、議論ノ
爲ノ議論ヲシテハイカスト云フコトハ能ク
承知シテ居ル、私ハ少クトモ議論スル爲ニ
此處デ申上ゲテ居ルノデハナイ、此ノ治安
維持ノ根本ノ問題ニ付テ、國務大臣タル司

法大臣ノ御所見ヲ伺ツテ居ル、一番重要ナ問題ニ付テ申上ガテ居ルノデ、何モ議論シテ居ルノデハアリマセスカラ御承知願ヒマス

○服部委員長 了承致シマシタ——猪野毛君——猪野毛君ニ此ノ際委員長カラ一言申上ガテ置キマス、午前ニ總理大臣ハ何故本日登院ヲ致サレザルヤトノ御質問ニ對シテ、委員長ハ篤ト取調ヲ致シマシタル所、總理大臣ハ病氣ノ爲メ引籠リ靜養中デアルトノコトデアリマス、其ノ病氣ハ確カニハ致シマセズデシタガ、風邪デアルトノ由デアリマス、此ノ段御諒承ヲ願ヒマス、隨テ登院セラレルノ日ハ此處デ確實ニ申上ガテ兼ネルノデアリマス

○猪野毛委員 治安維持法ノ改正ノ内容ヲザツト見マシタラ、一ツハ國體ノ變革ニ關スルモノ、一ツハ私有財産ノ否認ニ關スル事項デアリマスガ、政體ノ變革ト云フヤウナコトニ付テハ、ドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルデセウカ、立憲國ノ日本ニ於キマシテハ、國體ハ絕對的ノモノデアリマスカラ申スニ及バズデアリマスガ、政體ノ變革ト云フコトモ次イデ頗ル重要ノ問題デアルト思ヒマス、私有財産ノ否認ノモツト先キニ行カナクテハナラヌモノデハナイカトマデ言フ學者モアリ、實際家モアルノデス、此ノ政體ノ變革ト云フモノガ茲ニ現ハレテ居ラス所以ハドウ云フ譯デセウカ

○柳川國務大臣 大體政體ノ變革ト云フコトニ限定セラレタ罪ガアルカドウカ存ジマセヌガ、恐ラク其ノ罪ヲ詮議シテ居ル間ニ、國體ノ變革ノ方ニ來ルカ、若シクハ別ノ方向ノ朝憲案亂ト云フコトニ行クノデハナイカト思ヒマス、隨テ政體變革トハツキリシテ

來ズニ、治安維持法カ刑法上ノ朝憲案亂ナドニ行クダラウト思ヒマス、尙ホ具體的ノ事例デモゴザイマシタナラバ、専門ノ者カラ御答辯致マシス

○猪野毛委員 是ハ立案ノ技術ニモ依ルコトデアリマスケレドモ、ドウシテモ日本デハ立憲政體ト云フモノニ紛淆ヲ來スヤウナコトヲシテハ、諸政ガ案レテ出來得ナイノデス、デスカラドウシテモ此ノ政體ノ文字ヲ入レ、政體ヲ尊重スルト云フコトヲ表ハサナクテハイカスト思フ、此ノ點ヲハツキリセヌト、今頃ニナツテカラ憲法ニ恪循スルノ、セヌト大騒ギヲシテ、幕府ノヤウナ政治ガ現ハレルノデハナイカト云フコトヲ斯ウ云フ時節ニ憂ヘル者ガ多クアル、是ハ心配性ノ人バカリデハナイ、心配性デナイ人ガ心配スルノダカラ、是ハ餘程重要ナ事柄ニナツテ居ルノデハナイカト思フ、ソレデアリマスカラ國體擁護法案トカ云フヤウナ名前ヲ付ケテアルノナラバ兎モ角モ、治安維持法ト云フヤウナ名前ノ下ニ於ケル所ノ法律ナラバ、ドウシテモ是ハ政體ヲ一ツ入レナケレバナラヌト思ヒマス、政府ノ方デ政體ヲ入レナイト云フト、何ダカ私有財産ノヤウナコトニハ重キヲ置イテ見ルケレドモ、政體ノ方ハ餘リ重キヲ置イテ見ナイノデハナイカ、即チ憲法政治ニ紛淆ヲ來スヤウナコトヲ輕ク考ヘテ居ル者ガ居ルノデハナイカ、先般來ノ翼贊會ノ幹部ノ行動其ノ持ツテ居ル所ノ思想、方々デ演說ヲシテ歩ク所ノ内容、出版物、ソレ等ハ一部ノ人間デアリマスルケレドモ、ソレ等ノ人間ノ不健全ナル思想、斯ウ云フ所カラ見デ、是ハ政府ト表裏一體ト云フヤウナコトヲ言ウテ居ルノデハ、ドウシテモ人民ト政府ト

結率ノ上ニ又翼贊會ト云フヤウナモノガアルヤウナコトヲ疑ハセル心配ガアルノデス、成程「ロシヤ」ナドニハ「ロシヤ」ノ政府ノ上ニ「スターリン」ノ一ツノ團體ガアル、「ドイツ」ニモアル、「イタリヤ」ニモアル、是ガ非常ニ旨ク行ツタカラ、一ツ此ノヤウニシテヤウテ見タイト云フヤウナコトヲ思フノデハナイカト云フ疑ヒヲ持ツ者サヘアルノデス、是カラ皆幕府々々ト云フ言葉ガ此ノ頃出テ來タノデス、ソレダカラドウシテモ是ハ政體ニ紛淆ヲ來スヤウナモノニ對シテハドウト、斯ウ云フ字句ヲ一ツ此ノ中ニ入レル方が、私ハ安全デハナイカト云フ風ニ思フノデアリマス、是ハ司法院大臣デナクテモ宜シウゴザイマス、外ノ方カラデモ結構デアリマスカラ御答ヘ願ヒタイ

○田中政府委員 日本デ幕府ト云フ言葉ハ、武家政治ヲ意味スルノデアリマス、軍ニ關スル限リサウ云フコトハ夢ニモ考ヘテ居リマセヌ、一時思想ノ混亂シタ時期ニ、國民大衆ガ若干ノ誤解ヲ持タレタ時期デアリマセウガ、現在ニ於キマシテハ、陸軍省官制ニ定メラレタル政治關係以外ノ軍人ハ全力ヲ擧ゲテ、死力ヲ盡シテ舉國訓練ニ邁進シテ居リマス、又若シソレ等ガ政體ノ變更トカ云フヤウナコトヲ考ヘ、若シクハ行動ニ出マシタ場合ニハ、現行陸軍刑法ヲ以テ明確ニ處斷シ得ルノデアリマシテ、治安維持法ニナクテモ、陸軍ニ關スル限リ幕府政治ナドト云フコトハ毛頭考ヘテ居リマセヌシ、又實行モ出來マセヌ、又實行シヨウト思ツテ居ル者モナイト思ヒマス、其ノ點御安心ヲ願ヒマス、隨ヒマシテ武家政治ハ將來永久ニ互ツテ實現シナイモノト考ヘマス

○柳川國務大臣 憲法ノ紛淆ヲ來ス如キ考

ヘハ、ソレハ無論嚴重ニ制裁ヲ加ヘナケレバナラスノデアリマシテ、個々ノ事例ニ當リマシタナラバ、必ズ現在ノ刑法——只今ノ軍刑法トカ或ハ一般刑法トカデ朝憲案亂其ノ他ノ仔儀ヲ處斷ガ出來ルヤウニナツテ居ルト心得テ居リマス、憲法ノ紛淆ヲ來スヤウナコトハ嚴重制裁ヲシナケレバナリマセヌカラ、本治安維持法案ノ制定サレマシタノハ、主トシテ當時、一時思想犯ガ多カッタ爲ニ、其ノ思想對策トシテ制定セラレタノガ今日ニ至リマシテ、尙ホ過日モ、又本日モ御説明申上ガマシタ通り、不備ノ點ガアリマスノデ、今度ソレヲ強化シテ補ハレルヤウニナツタ次第デゴザイマシテ、大體今御質問ノヤウナコトハ制裁スルコトニナツテ居ルト信ズルノデゴザイマス

○田村委員 關聯シテ御伺ヒ致シマス、私モ今ノ猪野毛君ノ御質疑ト憂ヒヲ同ジウスル者デゴザイマス、本法ニ依リマス、是ハ國體デアリマスガ、宣傳煽動ト云フコトハ嚴重處罰スルコトニナツテ居ル、所ガ近時一ツノ弊風ハ、議會制度ヲ否認スルヤウナ言動ヲスル者ガ相當居ルノデアリマス、ソレニ對スル處罰規定ト云フモノガ——是ハ暴動、内亂ヲ起スコトヲ目的トシタ場合、是ハ未遂罪モ朝憲案亂罪デ處罰サレルノデアリマスガ、議會制度ヲ否認スルヤウナ言動ヲスル者ガ居ルノデアリマス、ソレニ對スル處罰規定ハナイヤウデアリマスガ、朝憲案亂ノ言葉ダケデハ、サウ云フ思想ノ發表ヲシタダケデハ朝憲案亂罪ニ觸レルカドウカ疑問デアリマスガ、サウ云フモノニ對シテハドウ云フ風ナ處罰ガ出來マスカ、今猪野毛君ノ御心配ニナル點、私ハ洵ニ時宜適切ダト思ヒマスカラ、此ノ點ニ對シテ、

司法大臣ハドウ云フ所ヲ取ツテ押ヘラレルカ、偶、此ノ法ノ制定ト相關聯シテ御考慮ニナルグラウト思フノデアリマスガ、御伺ヒ致シタイノデアリマス

○柳川國務大臣 此ノ治安維持法ガ不備ナ點ハ、只今仰シヤツタ宣傳ト云フコトガナカツタノデアリマス、現行法ニハナイノデゴザイマシテ、是ハ昭和九年頃カラ、教唆ト云フノハアリマシテモ、宣傳ト云フノガナイノデゴザイマシテ、當時思想對策トシテ定メテ、此ノ度ノ改正案ニハ其ノコトガ載ツテ居リマスカラ、大體其ノ方デ取調ガ出來ルト考ヘテ居リマス(田村委員)朝憲案亂ノ方デスカ)思想上デスネ、思想上ノ宣傳ヲスルモノハ、是マデノ現行法ニハ宣傳ト云フコトガナイノデゴザイマス、新改正法律案ニ宣傳ト云フノヲ加ヘラレタノデアリマス、多分ソレニ依ツテ取調ガ出來ルグラウト存ジテ居リマス

○田村委員 ソレハ本法ノ國體變革ニ付テハ新シイ法律ガ出マスコトハ仰シヤル通りデゴザイマス、私ノ申上ゲルノハ、議會制度ノ否認ヲ公然ト公開ノ席上ナド言ウテ居ル者ガ現ニ居ル、中央カラ行キマシタ者デモサウ云フコトヲ言ウテ居ル者ガ居ル、之ニ對スル取締法規デアル、國體ト政體トハ違ヒマスガ、國體ノ變革ヲ目的トスル煽動若シクハ宣傳ヲナス者ハ此ノ新シイ法律ガ出來マスレバ、此ノ法律ニ依ツテ嚴重處罰サレルコトニナツテ居ル、所ガ一方議會制度ニ對スル崩壞ヲ巧ラム思想ヲ以テ宣傳ヲシ煽動ヲスル者ガ現ニアルノデアリマス、ソレ等ニ對シテ如何ナル法條ニ依ツテ取締リ得ルカト云フ點ヲ承リタイノデアリマス

○秋山政府委員 議會制度ノ破壞ヲ企テ

ト云フ場合ハ、國體變革ノ目的ヲ以テ、此ノ目的デアル例ヘバ宣傳スルトカ、或ハ之ヲ公衆ニ對シテ煽動スルトカ云フコトニ掛リマスノデ、本案ノ第五條ニ該當スル譯デアリマス

○田村委員 例ヘバ大政翼贊會ガ出來タカラモウ議會ナドハ要ラヌト云フ考ヘニナツテ、翼贊會ノ若イ者ナドニハ——是ハ徹底的ニ改組シナケレバナラヌノデスガ、議會ナドハモウ要ラヌ、議會制度ハ止メテシマツタ方ガ宜イト言フノガアル、サウ云フ場合ニモサウ云フ言動ヲ取締リ得ルカドウカ、其ノ取締リ此ノ法規デアルヤ否ヤ、其ノ點ヲ御考慮ニナツタカドウカ伺ヒタイ

○秋山政府委員 例ヘバソレガ文書ニ依ツテナサレル、或ハ新聞紙上ニ發表サレルト云フヤウナ場合ニハ、新聞紙法或ハ出版法ニ當ル場合ガ多イト思ヒマス、唯併シナガラ其ノ事例ヲ具體的ニ一々檢討シテ考ヘテ見ナケレバ、ソレガ果シテ出版法ニ當ルカ、新聞紙法ニ當ルカト云フコトヲ判斷スルコトハ困難デアリマス

○中村(高)委員 關聯シテ——今ノ刑事局長ノ御答辯ニ依リマス、議會制度ヲ變更スルト云フヤウナコトニ對シテモ、新聞紙法、出版法ニ掛ル場合ガアルト云フヤウナ御答辯デアリマシタガ、私ハ現在ノ法律デハ、唯議會制度ヲ變ヘルト云フ演說ヲスルトカ、出版物ヲ出シテモ法律ニハ觸レヌト思ヒマス、ソレガ若シモウ少シ不穩ノ行動ニデモ出ルトカ、何カ實力ニ依ツテ變更スルトカ云フ程度ニ至レバ、是ハ朝憲案亂ニナルト思ヒマスガ、幾ラ演說シタリ文書ニ書イデモ是ハ取締ノ規定ハ現在ナイト私ハ思ヒマスケレドモ、是ハ如何デアリマセウカ

○秋山政府委員 ソレガ悉ク新聞紙法、出版法ニ觸レルト申シタ譯デアリマセス、具體的ニ事案ニ付テ十分檢討シテ見ナケレバ、之ニ當ルカドウカ分ラヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリマス、議會制度ノ破壞ノ意見ヲ發表シマス其ノ程度如何ニ依ツテハ、新聞紙法、出版法ニ觸レル場合ガアリ得ルト思ヒマス

○猪野毛委員 極ク大事ナ點デアリマスカラ、モウ一ツ簡單ニ念ヲ押シテ置キマスガ、明治天皇ガ憲法ヲ御布キニナレタ時ノ御勅諭、又議會開設ノ時ノ御勅諭ヲ拜シマシテ、之ニ變革ヲ企テタリ紛淆ヲ來タスヤウナコトニナレバ、自然ニ國體ノ變革ヲヤリタイヤウナ氣分ニ移ツテ行クノデス、胃ヲ惡クスルト腸ニ行ク、肺ガ惡クナレバ隨テ腎臟モ惡クナルト云フヤウニ、中々微妙ナ關聯性ガアル、斯ウ云フヤウナコトハ「ロシヤ」ノ方デハスツカリ研究シマシテ、何年カノ間「コミンテルン」ハ日本赤化ノ運動ヲヤツテ見タケレドモ思フヤウニ壺ニ入ラナカツタ、是ハ日本ハ萬世一系ノ天皇ヲ戴イテ居ル、天壤無窮ノ國體デアル、之ニ養ハレタル臣民ハ忠誠限リナイ、君臣一體ノ大義ヲ抱イテ居ル、斯ウ云フコトデ實ハ失望シテ居ル、ケレドモ非常ニシツコイ考ヘテ持ツテ居テソレデモ斷念ハシナイ、此ノ手デ行ツテ駄目ナラバ此ノ手デ、此ノ手デ行カナケレバ此ノ手デト云フノデ四方八方裏表カラ色々彼等ノ目的ヲ達シヨウトスル、ダカラ以前ハ外カラ破壞シヨウトシマシタノガ、今度ハ中カラ破壊サウト掛ツテ居ル、コチラハソレハ信念ガアルカラ大丈夫ダト政府ノ人ハ仰シヤルケレドモ、「ロシヤ」ハ中々非常ニ熱心ニシ

ツコクヤツテ居ルノデス、アノ「コミンテルン」ノシツコサト云フモノハ激シイモノデス、是ガ手ヲ變ヘ品ヲ替ヘテ來ル時ニ一番附ケ込デ來ル所ハ何カト云フト、此ノ憲法政治デアル、憲法政治ニ動搖ヲ來タストモウ隣リマデ來テ居ル、胃腸ガ弱ツテ居ル時ハ風邪ヲ引クト云フヤウニ、之ヲヤリ兼ネスト私ハ思フノデス、ヤリ兼ネヌノミナラズ試ミタヤウナ疑ヲ持ツベキ點ガ澤山アル、ソレダカラドウシテモ日本ハ憲法政治ヲ尊ビ、遵奉スル、之ヲ確然トシテ置カナケレバナラヌト思フ、餘所デ巧イコトヲヤツタカラト云ウテ、日本デモソレデヤツタ方ガ戰爭ヲスルノニ都合ガ好イデヤナイカト云フヤウナコト、便宜主義ナコトヲ考ヘテ、「ドイッ」ヤ「イタリヤ」ヤ「ロシヤ」ノ眞似ヲシテハ日本ガトシデモナイ目ニ陥ルノデス、是ハ非常ニ大事ナ點デアリマスカラ、治安維持法ノヤウナ此ノ法案ガ出タ機會ニ、斯ウ云フ點ヲハツキリシテ置キタイ、ソレハ朝憲案亂ノ關係ノ法律デドウトカ、新聞紙法ノ方デドウトカト云フヤウニ、他ノ方ノ責任トカ何トカト云フコトヲ考ヘズニ、是ト如何ニ強烈ナル、深刻ナル關聯性ガアルヤ、サウ云フ御心持ヲ以テ一ツ説明シテ戴キタイト思フノデス、サウスレバ完全ニ是ハ防禦シ得ルノデス

○柳川國務大臣 只今ノ猪野毛サンノ仰シヤル通りニ、政體、議會制度ノ變革ノ考ヘヲシテ來テ居ル、其ノ目的ガ國體變革ノ順序ニ考ヘテ居ルカモ知レヌト言ハレマスガ、仰シヤル通りニソレヲ取調ベマシタナラバ、恐ラクサウ云フ方面ニ自然取調ベハ進ムグラウト思ヒマス、仍テ取扱フモノガ其ノ心持デ、憲法ヲ變更スル如キ言動ガ、

單ニ一二ノ批判トカ何トカソコニ止マルノ
デナクシテ、國體變革ニマデ行ク素地デハ
ナイカト云フコトハ能ク心得テ、本法ノ執
行ニ努メタナラバ、今猪野毛サンノ御心配
ノヤウナコトハ豫防制裁ガ出來ルト存ジテ
居ル次第デゴザイマス

○田中政府委員 今司法大臣閣下カラ申サ
レタ通りデアリマスガ、サウ云フ明カニ第
三「コミンテルン」ノ陰謀デアレバ、是ハ一ツ
ノ日本ニ對スル政治謀略戰法デアリマス、
隨ヒマシテ先般御協賛ヲ得マシタ國防保安
法ニ依ツテ最モ峻烈ナル手段ヲ執ルコトハ、
國防保安法ヲ御覽ニナレバ分リマス

○猪野(毛)委員 私有財産ノ否認ト云フコ
トモ、無論ハ嚴格ニ取締ラナクテハナリ
マセヌガ、政體ノ變革ノ方ガモツト上位ニ
於テ心配シナケレバナラス性質ノモノデハ
アリマセヌデセウカ

○柳川國務大臣 ヤハリ猪野毛サンノ仰シ
ヤル通りニ、私有財産ノ否認ト云フヤウナ
運動ガ、延イテハ國內擾亂ニ及ボシ、遂ニ
進ンデハ國體變革ニ容易ニ行ク所ノ道程ヲ
成ス今日、最モ取付キ易イ手段ノヤウニ思
ヒマス、隨テ是モ嚴重ニ取締ラナケレバナ
ラスト思フノデアリマシテ、本法ハ條ヲ變
ヘマシタケレドモ、依然現行法ノ私有財産
否認ノ條項ヲ有シテアル次第デゴザイマ
ス、政體變革ト云フコトガソレヨリ先キデ
アルト云ハレル御心持ハ能ク分リマス、恐
ラク是ハ國體變革ト云フコトガ非常ニ大キ
ナコトデゴザイマスカラ、自然其ノ中ニ含
マレル順序ニナルト存ジマス

○猪野(毛)委員 御存ジノ通り私有財産ノ
否認ト云フコトハ即チ物質ノ否認デアル、人
ニ依ツテハ物質ノ方ガ頭ニピント來ルモノガ

アルシ、其ノ方ノ感ジノ強イモノモアリマ
セウ、ケレドモ大切ナコトハ物質ヨリハヤ
ハリ精神ノ方デス、日本ハ何ト云ツテモ
明治天皇様ノ御制定ニテラレタ憲法政治ニ
紛淆ヲ來サウト云フヤウナ材簡違ヒノ考ヘ
ノ者ハ、時ニ依レバ是ハ私有財産モ否認ス
ルヤウナ考ヘガ起キルシ、段々モツト危險
ナ思想ニ增長シテ行クト云フ虞ハ十分ニア
ルノデス、ガカラ憲法政治ノ紛淆ヲ來サウ
トスルモノ、否認スルモノ、是ハ即チ精神
的ナモノ、私有財産ノ否認ハ即チ物質的ナ
モノ、物心兩々相俟ツテサウシテ國體ノ變
革ヲ來サシメナイヤウニ、萬世一系ノ日本
ノ國柄ニ取付ケサセズ、彌増シニ之ヲ
發揮シナケレバナラス、斯ウスル方ガ立
法技術ノ上ニ於テモ當然デハナカラウカ
ト思フノデス、之ヲ制定致シタ時ハ、丁
度私共議會ニ出テ居ツタ時デアリマシタ
ガ、當時ノ考ヘハ餘程單純デアツタと思
フ、國體ノ變革ト私有財産ノ否認、一方ハ
物ノ否認ヲヤカマシク言ヒ、一方ハ絕對
的ノモノデ、兩々ト云ツテ竝ビ立テラレル
ヤウナモノデナク、モツト算イモノデアリ
マスケレドモ、「コミンテルン」ノ方デ作戦計
畫ヲ變ヘテ日本ニ當ツテ見テ、其ノ經驗ヲ
經テ結果、是ハ立憲政體ニ一ツ紛淆ヲ來タ
サセル方ガ便法ダ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノ
デアリマス、ガカラ立法ノ方デモ斯ウ云フ
風ニ敵ノ進歩シタ考ヘニ、對抗デモナイケ
レドモ、ソレニ侵サレヌヤウニ強イ用意ヲ
シナケレバイカスト思ヒマス、私ハ只今ノ
司法大臣竝ニ政府委員ノ答辯ガケデハ、ド
ウモ満足ガ出來ナイ不安ナ點ガマダアルノ
デアリマス、併シ此ノ點ニ付テハ尙ホ政府
當局ニ於テモ少シ御研究ヲシテ戴キタイ、

必ズ是ハ隣リニ火ガ付クト云フ簡單ナ「エク
ザンブル」デ行クト分リマスガ、此ノ手ノモ
ノハ結局ハ此ノ手デ來ル、何トシテモ斯ウ
云フ順序ニナル、ソレハ餘程立法者ノ方ニ
於テ豫メ豫防線ヲ張ツテ置ク必要ガアルト
思フ、又其ノ方ガ效果的デアルト考ヘル、
是ハ只今答辯ヲ願ハズトモ結構デスガ、頗
ル是ハ大事ナコトデアリマスカラ、一ツ研
究ヲシテ置イテ下サイ

○秋山政府委員 此ノ立案當時ノ心持ヲ申
シマス、議會制度否認ノ思想ト云フモノ
ハ、大體ニ於テ國體變革ノ思想若シハ私
有財産制度否認ノ思想ヲ實現スル爲ノ手段
ニ用ヒラレルモノデアルト考ヘテ居リマス、
唯議會制度否認ダケデ、更ニ進ンデ何モ考
ヘナイト云フヤウナモノハ、サウ惡質ノモ
ノデナイノデアツテ、ソレガ漸次進ンデ國
體變革ノ思想ニマデ入ツテ行ク虞ガアリマ
スカラ、ソコニ非常ナ恐ロシイ點ガアルノ
デアリマスガ、ソレハ大體ニ於テ今申上ゲ
マシタヤウナ國體變革ノ思想實現ノ手段、
私有財産否認實現ノ手段トシテ之ヲ見ルコ
トガ出來、恐ラク搜查ガ進ンデ參リマスレ
バ先刻來大臣カラ御説明ノアツタヤウニ、
結局ハ國體變革ノ思想、私有財産否認ノ思
想ニマデ突進ンデ行クトガ出來ルト思フ
ノデアリマス、隨テ政體變革ノ問題、議會
制度否認等ノ問題ニ付キマシテハ、特ニ此處
ニ現ハサナイデモソレデ賄ヒガ付クヤウニ
考ヘテ居ルノデアリマス、併シ尙ホ其ノ點
ハ研究モ致シマセウケレドモ、私共ト致シ
マシテハ十分ニ研究シタ上デ、斯ウ云フコ
トニ立案ヲ致シタ次第デアリマスカラ、其
ノ點ヲ申上ゲテ置キマス

○服部委員長 猪野毛君宜シウゴザイマス
カ

○猪野毛委員 宜シウゴザイマス

○服部委員長 司法大臣ニ對スル御質疑ハ
アリマセヌカ

○藤田委員 今ハゴザイマセヌガ、本案ニ
對シテ逐條審議ノ時分ニ聽イテ見タイと思
ヒマスノデ、其ノ時ニ已ムヲ得ズシテ大臣
ノ御意見ヲ拜聽シナケレバナラスヤウニナ
ルカモ分リマセヌガ、モウ此處デ大臣ニ質
問ノナイ者ハ、モウ司法大臣ノ答辯ガ得ラ
レヌト云フ御約束ノヤウナコトニナルト困
リマスカラ、其ノ點ダケ一寸申上ゲテ置キ
マス

○服部委員長 サウ云フ御心配ハアリマセ
ヌ、尙ホ必要ノ時ハ何時デモ出テ戴クヤウ
ニ致シマス、政府ノ方モ左様御承知ヲ願ヒ
マス——此ノ際藤田君ニ御答ヘ申上ゲテ置
キマスガ、午前ニ本委員會ハ凡ソ幾日間位
ニ終リ、凡ソ何回ヲ重ネテ終了スル見込デ
アルカト云フ御尋ネガアリマシタガ、其ノ
儀ニ付テ打合ハセマシタ所、本案ハ國體及
ビ人權ニ關スル極メテ重要ナル法案デアリ
マスカラ、相當ニ質疑ヲ試ミタイ人モアラ
ウト思ヒマス、ノミナラズ委員會ノ初メニ
於テ豫メ回数時日ヲ限定スルコトハ、委員諸
君ノ審議權ヲ制限セントスルヤウナ虞モア
リマスカラ、其ノ日時及ビ回数ハ此處デ申
上ゲ兼ネルノデアリマス、成ベク皆樣勉強
シテ早く審議ヲ終ルヤウニ御願ヒヲシテ置
キマス、左様御諒承願ヒマス

○藤田委員 只今ノ委員長ノ御話ニ對シテ
一言申上ゲマス、質問ハ……

○服部委員長 藤田君ニ申上ゲマス、質問
ハ大體總論的ニ之ヲナシ、續イテ逐條的ニ
ナスト云フコトニナツテ居リマスカラ、逐

條の場合ハ順位ガアルノデアリマスカラ、逐條のナレバ後廻シニ願ヒマス

○藤田委員 只今ノ委員長ノ御話デアリマスガ、委員長ニ私ハ聞イタノデハナク、理事モ居ラレルカラ御協議ヲシテ、審議ハ凡ソドノ位ニシタラ宜イカ、早ク片付ケタラ宜イノデハナイカ、大體急速ニスルノガ戰時議會ノ態度デ總テ進ンデ居ルノニ、此ノ治安維持法ノ改正案ダケヲ引離シテ、ユルユルトヤル、審議權ヲ制限スルノダトカ何ダトカ云フ態度デ行クベキモノデハナイト思フ、ソレデ私ハ先刻、理事モ附イテ居ラレルノデスカラ、御相談ノ上サウ云フ風ニシタ方ガ宜イデヤナイカト云フコトヲ申上ガタノデアリマスガ、ソレハ、委員長限リニ意見ヲ聽イタノデハアリマセヌ、サウ云フヤウニ御相談ヲシテ戴イタ方ガ宜イノデヤナイカト云フコトヲ申上ガタノデアリマスガ、只今ハ委員ノ審議權ヲ制限スルヤウナ態度デヤイカス、サウ云フコトハシナイ方針ダ、順々ニヤルノダト云フヤウナ態度デ行クナラバ、全然今回ノ議會ニ對スル吾ノ態度ト違ツタ態度デ委員會ヲ整理サレルコトニナルガ、ソレモ宜イ、敢ヘテ申上ガマセヌ、ソレカラ此ノ機會ニ序デニ申上ガテ置キマスガ、私ハ總括的ノ質問ノ必要ヲ感じテ居リマセヌ、以前岡田内閣時代ニ提案サレタ治安維持法改正案ヲ極力成立サセタイト思ツテ努力シタノデアリマスガ、其ノ時分ニハ妙ナ感情ノ爲ニ到頭流サレテシマツテ、私ノ希望ハ空シクナツタノデアリマス、ソレデアルカラ今回モ速カニ此ノ法案ノ成立スルコトヲ私ハ熱望シテ居ルノデアリマス、唯條文ガ色々ニ變ツテ來テ居リマスカラ、條文ノ上ニ疑義ガアルカラ、

逐條審議ノ時ダケ當局ニ少シ説明ヲ質シタイト思ツテ居ル次第デアリマス、唯此ノ機會ニ申上ガテ置キタイノハ、資料トシテ岡田内閣時代ニ出サレタ案ヲ戴キタイト云フコトヲ申上ガテ置キマシタガ、モウ一ツ茲ニ資料ガ出來テ居レバ戴キタイト云フコトヲ當局ニ要求致シテ置キマス、ソレハ第四十條ノ規定ニ依ルト豫防拘禁委員會ト云フモノノ意見ヲ求ムルコトニナルガ、此ノ勅令案ガ出來テ居ルカ、勅令案ガ出來テ居レバ其ノ御示シヲ願ヒタイ、ソレト其ノ次ニ豫防拘禁ニ付セラレタ者ノ、改悛ヲセシムル爲ニ必要ナル處置ヲ執ルヤウニ書イテアルガ、是モ亦豫防拘禁所ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ定ムルコトニナツテ居ルガ、其ノ豫防拘禁所ノ仕事ノ内容ヲ諒承シタイノデアリマス、ソコデ其ノ勅令案ヲ御示シ願ヒタイ、ソレカラモウ一ツ命令ガアルヤウデゴザイマスガ、是ハ先刻ノドナタカノ質疑ニ對スル警保局長ノ御答ヘデハ、マダ出來テ居ラヌヤウデアアルガ、若シ出來テ居レバ同時ニ御示シタルト審議ノ上ニ非常ニ便宜ヲ得ルガ、六十四條ノ關係デアリマス、本法ニ規定スルモノノ外豫防拘禁ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム、此ノ規定外ノ命令事項決メテ行カナレバナラヌ、實行ニ移ス場合ニハ決メナレバナラヌカラ、既ニ御用意ガアルモノト私ハ拜承致シマス、サウ云フヤウナモノヲ御示シ下サルナラバ一目瞭然デアアルノデゴザイマスカラ、是ダケノ書類ガ出來テ居レバ御示シヲ願ヒタイ

○服部委員長 議事進行ニ關シテノ藤田君ノ御趣意ト私ハ大同小異デ、僅カノ點デ相違ヲ致シテ居ルト思ヒマス、ソレハ、通

常ノ議會ノ如ク、ズル／＼ト悠長ニヤルト云フ考ヘハ毛頭アリマセヌ、成ベク早く審議ヲ終了シタイト云フ希望ヲ持ツテ居ルコトハ同様デアリマス

○田村委員 私ハ總體的ノコトヲ御尋ネシテ、ソレカラ法文ニ入リタイト思フノデアリマス、抑、共產思想運動ノ取締ニ付テハ、國內ニ發生シタモノニアラズシテ、外ノ所謂「ロシヤ」ノ支配ニ依ツテ動イテ居ル、コゴガ「ボイント」デアリマス、國防法案ノ時ニモ色々アリマシタガ、國際謀略ニ使ハレル、國際謀略ニ使ハレルノハ、政治諜報、外交諜報、諜報下コロノ問題デハナイ、

「コミンテルン」ノ活動ガ我が國ニ取ツテハ根本問題デアラウト思ヒマス、國內共產思想、一ツノ社會主義的ノ思想ニ興味ヲ持ツト云フノデハナクシテ、「ロシヤ」ノ支配ヲ受ケテ居ル、此ノ支配ヲ受ケタ活動デアアルコトニ本法制定ノ根本動機ガアルト思フノデアリマス、ソコデ先ヅ順序トシテ最初ニ承リタイノハ、「ロシヤ」ノ「コミンテルン」ガ我國ニ對シテ現在如何ナル活動狀況ニア

ルカ、或ハ教育問題、或ハ大使館ノ利用トカ、或ハ商務官、旅行者ノ派遣トカ、色々ナコトヲヤツテ居ルコトハ既ニ承ツテ居リマスガ、我國ニ對スル「コミンテルン」ノ活動ノ狀況モ時々變ツテ來テ居リマスガ、現在ノ共產思想運動ニ對スル「コミンテルン」ノ我國ニ對スル活動狀況、組織狀態、之ヲ先ヅ出來ル限リ詳シク承リタイト思ヒマス

○橋本政府委員 只今「コミンテルン」ノ活動狀況ニ付テ出來ルダケ詳シクト云フ御質問デアリマスガ、遺憾ナガラ出來ルダケ詳シク致シマスノニハ、公開ノ席デハ如何カト存ジマス、祕密會ニ於テ詳細申上ゲタイト思ヒマス

○田村委員 祕密會デ結構デアリマスカラ御願ヒシマス、ソレカラ過去ノ事例デスガ、今回ノ拘禁制度ヲ設ケタ一ツノ直接ノ動機ニナツテ居ルトモ思フノデスカ、例ノ三・一五、四・一六事件ノ「コミンテルン」トノ關係ノ概要ヲ承リタイト思ヒマスガ、是モ公開デイカナレバ祕密會ニ依ル外ナイト思ヒマスガ、如何デスカ

○橋本政府委員 ソレモ祕密會デ申上ゲマス

○田村委員 諄イヤウデアリマスガ、今承ツタコトニ關聯シマスノデ、念ノ爲ニ伺ツテ置キタイ、今日ノ事變ニ於テハ思想的ノ動キ、思想的ノ國際間ノ宣傳ト云フモノガ熾烈ヲ極メテ居ルノデアリマス、一九三五年デアリマシタガ「コミンテルン」ノ大會ニ於テハ、日本ト「ドイツ」ヲ赤化スルト云フ方針ガ決定サレタ、所ガ「ドイツ」ハア云フ風ナ政策ヲ執ツタノデ、今ヤ「コミンテルン」ノ目標ハ全力ヲ擧ゲテ日本ヲ赤化スルト云フ所ニアルンデヤナイカト、是ハ漠然トデハアリマスガ惧レテ居ル、ソコデ私ハ此ノ點ヲ眼目トシテ本法ノ運用ニ當ラナレバナラヌト思フ

○橋本政府委員 御質問ニ對シマシテハ、祕密會ニ於テ詳細ヲ申上ゲタイト思ヒマス

○中野(實)委員 議事進行ニ付テ——質問者ノ質問ガ、答辯ヲスル政府委員ノ頭ハ入ツテ居ル中ニ答辯シテ貰ハナイトチダハダニナル、ソレデ是ハ洵ニ氣ノ毒ダガ祕密會ニシテヤツテ貰ヒタイ、只今モ警保局長ノ答ヘニ祕密會ニ於テヤルト云フノデアルカラ……

○服部委員長 祕密會ノコトニ付テハ考ヘテ居リマス

○中野(實)委員 私ノ言フノハサウデナイ、質問者ノ質問シタノガ政府委員ノ頭ニ入ルデセウ、其ノ時直チニ答ヘテ貰ハナカッタナラバ、質問ガ是レ「デアッタト云ツテ澤山溜メテ置イテ」答辯デハ要領ヲ得ナイカラ、此處デ直チニ秘密會ヲ開イテヤツタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ譯デス

○服部委員長 御意見デモアリマスガ、溜メテ置イテ秘密會デ説明ヲシテ戴クト云フ意味デハナイケレドモ、時間ヲ定メテユツクリ一ツ秘密會デ伺ツタ方ガ宜カラウ、ソレモ遠イ時デハナイ、最近ニ一ツ皆様ニ御諮リシテ其ノ機會ヲ作りタイト思フガドウデスカ

○中野(實)委員 宜シウゴザイマス

○田村委員 ドウモ詳シイコトハ非常ニ今御取締ノ過程ニオアリノ點モアツテ、秘密會デナケレバ御話ガ出來ヌ點ガアラウト思ヒマス、諒承スルニ苦シマセスガ、唯國民ニ斯ウ云フコトハ能ク言ツテ置カナケレバナリマセヌカラ、極ク引括メテ申上ゲテ、出來マスナラバサウ云フヤウナ動キガ、兎モ角モ「コミンテルン」ニアルト云フコトヲ私ガ申上ゲル點デ御認メガ願ヘレバ、國民ニ對スル自覺、事變下ニ於テ外國ニ依ツテ日本ガ惑亂セラレルコトヲ防止スル一ツノ機縁ニ使ヒタイ爲ニ、承ツテ置キタイノデアリマス、今申上ゲタヤウニ「ロシヤ・コミンテルン」ノ我が國ニ對スル動キト云フモノハ、我が國ノ取締又共產黨ノ成績如何ト云フコトカラ非常ニ變ツテ來テ居ル、銀行「ギャング」事件ガ數年前ニ現ハレタ、アレハ我が國ノ當局ノ取締ガ徹底シタ爲ニ「ロシヤ・コミンテルン」ノ期待スルヤウナ效果

ヲ擧ゲラレナイ、ソゴデ日本ノ「コミンテルン」共產黨員ガ「ロシヤ」ノ「コミンテルン」ノ本部カラ攻撃セラレ、戒飭セラレ、而シテ其ノ資金ガ供給セラレクナツタト云フヤウナコトガ一ツノ理由ヲ成シテ、遂ニ銀行「ギャング」事件マデ白晝公然ト行ハレタ、私ノ趣旨トスル所ハ、國民ニ反省ヲ促ス、サウシテ「ロシヤ」ノ手先ニ一人モナラナイヤウニ、官民一致シテ協力セシメナケレバナラナイ、其ノ觀點カラ出來ルダケサウ云フ「ロシヤ」ノ「コミンテルン」ノ活動ノ取締ニ差障リノナイ限リ公ニシテ、國民ノ自覺ト反省ヲ促ス意味ニ於テ使ツテ戴キタイ、「コミンテルン」ノ狀況ニ對シテ、如何御觀察デアリマスカ

○橋本政府委員 只今田村サンノ御意見ハ一應御尤モナ御意見ト存ジマス、併シナガラ甚ダ遺憾デアリマスルガ、責任者ト致シマシテ此ノ席ニ於テ具體的ニ御答ヘノ出來ナイノヲ甚ダ遺憾ニ存ズル次第デアリマス、惡シカラズ御諒承ヲ願ヒマス、唯國民ニ對シマシテハ私共ハ更ニ「國體ニ對スル確乎タル自信」信念ヲ以テ、之ニ當ラナケレバナラヌト云フコトヲ申上ゲテ、此ノ程度デ惡シカラズ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○田村委員 今ノ點ニ關聯シテデスガ、轉向ノ意味カラデスケレドモ、頂戴シテ居ル資料ノ中ニ、内容ハ「秘」トシテアリマスカラ申上ゲマセヌガ、違反事件ノ年度別處理人員表ト云フモノガ出テ居リマス、此ノ中ノ數字ニ依リマスと昭和八年カラハズツト減少シテ居リマス、支那事變ガ始マツテ國家ノ難ニ赴クト云フコトノ起キテ來タノハ昭和十二年、昭和八年ガ一番多クテ昭和九年頃カラズツト斯ウ減ツテ來テ居リマス其ノ理由、内容ハ一體ドウ云フノデアリマスカ、承ルコトガ出來マスナラバ伺ヒタイト思ヒマス

○太田政府委員 御答ヘ致シマス、昭和八年十月ノ熱海ノ事件、所謂熱海事件トシテ大量ノ檢舉ヲ致シマシタ、之ニ依リマシテ黨ノ尖鋭分子ヲ一舉大量的ニ檢舉出來マシタト、其ノ前後カラ其ノ外廓團體ニ對シマシテ相當ナル彈壓ヲ加ヘマシタ、是ト相俟チマシテ非常ニ當時力ガ衰ヘタノデゴザイマス、是ガ取締ノ方面カラノ運動ニ及ボシタ影響デゴザイマスガ、一面ニ於キマシテ其ノ頃カラ佐野、鍋山ノ轉向ガ發表セラレマシテ、今日カラ考ヘマスと相當不十分ナル轉向デハゴザイマスガ、當時ニ於キマシテハ、非常ニ其ノ陣營ニ衝動ヲ與ヘタノデゴザイマス、是ガ又學生其ノ他ヲシテ、所謂日和見の態度ヲ執ツテ居リマシタ連中ヲシテ、一應其ノ陣營ニ赴クトコトヲ避ケシメタ原因ニモナツテ居ルカト思ヒマス、更ニ申上ゲマスルト、滿洲事變以來澎湃トシテ起キマシタ國體明徴ノ思想、日本ガ或ル意味ニ於テ非常時デアル、斯ウ云フ思想ガ瀾漫致シマスニ連レマシテ、是ガ又左翼ノ連中ノ減少ヲ來スニ當リマシテ非常ニ大キナ力デアツタ、是ガ最モ根本ノ力デアツタカモ知レナイト、左様ニ吾々ハ觀察致シテ居リマス

○服部委員長 田村君ニ申上ゲマスガ、時間モ大分經過シテ參リマシタノデ……

○田村委員 ソレデハ今ノ一點ダケ——今ノ御説明デ私モ能ク了承致シマシタ、明日又續ケサセテ戴キタイト思ヒマス

○服部委員長 明日ハ午前十時ニ開會致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後五時十分散會